

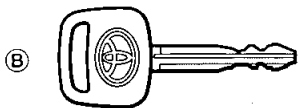
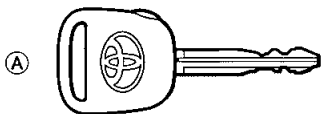
3 操作装置

●各部の開閉	72
●各部の調整	84
●メーター、表示灯、警告灯の見方	88
●視界の確保	108
●運転装置	118

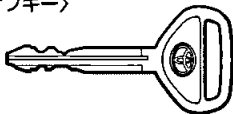
各部の開閉

キー

- キーはドアの施錠・解錠のほか、エンジンの始動・停止に使用します。
- ワイヤレスドアロック付き車は①、②のキーとサブキーが1枚、ワイヤレスドアロック付き車以外は③のキー2枚とサブキーが1枚あります。



〈サブキー〉

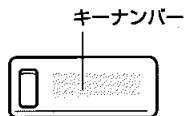


アドバイス

キーを作るときはトヨタ販売店にご相談ください。トヨタ純正品以外のキーを使用すると、キーがスムーズにまわらなくなるおそれがあります。

■キーナンバープレート

お客様以外のかたにキーナンバーをわかりにくくするため、キーナンバーをキーナンバープレートに打刻しました。(キーにはナンバーが打刻されていません。)



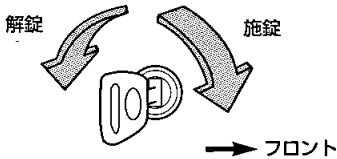
知識

キーナンバープレートを車両以外の場所に大切に保管してください。万一キーを紛失した場合、トヨタ販売店でキーナンバーからトヨタ純正品のキーを作ることができます。

ドア

■キーを使つての施錠と解錠 (フロントドア)

キーを車両前方にまわすと施錠、後方にまわすと解錠されます。

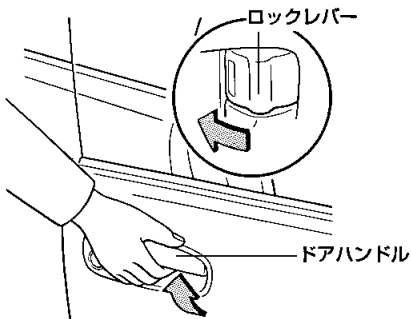


■知識

運転席ドアでキーを解錠側いっぱいにならしたまま保持すると運転席窓ガラスが開き、キーを施錠側いっぱいにならしたまま保持すると、運転席窓ガラスが閉まります。

■ロックレバーでの施錠と解錠

- ロックレバーを前方に押し込むと施錠し、後方に引き出すと解錠されます。
- 運転席ドアはロックレバーが施錠側に押し込まれていても車内のドアレバーを引くとドアが開きます。
- キーを使わずに施錠するには
- フロントドアはロックレバーを施錠側にして、ドアハンドルを引き上げたままドアを閉めます。
エンジンスイッチにキーが差し込まれていると施錠できません。



- リアドアはロックレバーを施錠側にして、ドアを閉めます。

⚠️ 注意

走行する前にすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。ドアが確実に閉まっていないと走行中にドアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■知識

- 乗車中の施錠、解錠についてはそれぞれ次のような効果がありますので、ご注意ください。
- 乗車中、施錠している場合
 - ・同乗者が誤ってドアを開けることを防ぎます。
 - ・車外からの不意の侵入者を防ぎます。
 - ・シートベルトの着用とあわせて、事故時に車外に投げ出される可能性が少なくなります。
- 乗車中、解錠している場合
 - ・万一の場合に車外からの救援活動が受けやすくなります。

なお、車速感应オートドアロック付き車は、車速が約20km/h以上になると自動的にすべてのドアが施錠されますが、車速感应オートドアロックを解除することもできます。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

- 車から離れるときは、必ずエンジンを止め施錠することが法的に義務づけられています。また、施錠していても車内に貴重品などを置かないようにしましょう。

キー抜き忘れ防止チャイム

エンジンスイッチがLOCKまたはACCの位置のとき運転席ドアを開けると、キーの抜き忘れを警告するチャイムが鳴ります。



知識

キーの閉じ込み防止のため、キーを持っていくことを確認してから施錠しましょう。

イルミネーテッドエントリースystem

フロントドア、リヤドアのいずれかを開けたとき、エンジンキー照明・室内灯(DOORの位置のとき)が点灯します。

すべてのドアを閉めると約15秒後に消灯します。



知識

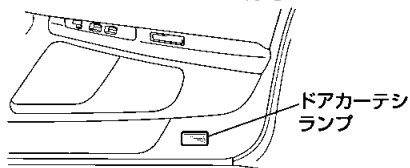
次のような場合は、ただちに消灯します。

- すべてのドアを閉め、エンジンスイッチをACCまたはONにしたとき
- エンジンスイッチがACCまたはONのときにすべてのドアを閉めたとき
- すべてのドアを閉め、すべてのドアを施錠したとき

フロントドアカーテシランプ★

フロントドア、リヤドアのいずれかを開けたとき運転席ドアおよび助手席ドアのランプが点灯します。

すべてのドアを閉めると消灯します。

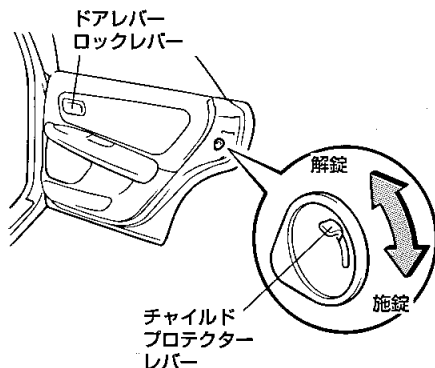


★印はグレード等により装着の有無が異なります。

チャイルドプロテクター

リヤドア

チャイルドプロテクターレバーを施錠側にしてドアを閉めると、ロックレバーの位置に関係なく、車内のドアレバーではリヤドアを開けることはできません。お子さまを乗せるときにご使用ください。



■チャイルドプロテクターが働いているときのドアの開け方

ロックレバーを解錠状態にして、車外からドアハンドルを引くとドアは開きます。

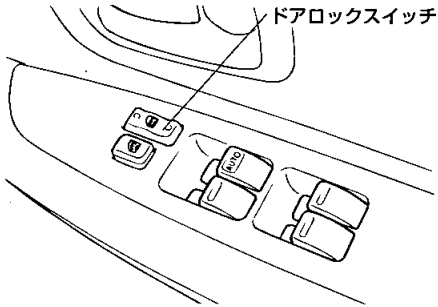
■万一のときの車内からの開け方

窓ガラスを下げ、ロックレバーが施錠されている場合はロックレバーを解錠状態にして、手を外に出してドアハンドルを引くと開きます。

電気式ドアロック

すべてのドアの施錠・解錠が運転席で同時にできます。

エンジンスイッチに関係なく使用できます。



■ドアロックスイッチを使つての施錠と解錠

スイッチの前側を押すと施錠、うしろ側を押すと解錠されます。

知識

スイッチを押し続けると作動しないことがあります。いったんスイッチから指を離し、押しなおしてください。

■キーを使つての施錠と解錠

運転席ドアにキーを差し込んでキーを車両前方にまわすと施錠、後方にまわすと解錠されます。

●すべてのドアの施錠、解錠ができます。

■車速感応オートドアロック★

車速が約20km/h以上になると自動的に施錠されます。

知識

車速感応オートドアロック機能を解除することもできます。トヨタ販売店にご相談ください。

■キー閉じ込み防止機能

エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき、または運転席ドアが開いているときは、運転席ドアを電気式ドアロックスイッチやロックレバーにより、施錠しようとしても施錠できません。

■衝撃感知ドアロック解除システム★

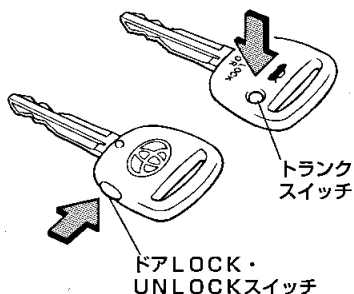
車両が前後左右から強い衝撃を受けると数秒後に全ドアのロックが自動的に解除されます。

知識

SRSエアバッグが作動しないような弱い衝撃のときや、事故の形態によっては作動しないことがあります。

ワイレスドアロック★

電波により、車から離れたところ(約1m)から全ドアの施錠・解錠およびトランクを開けることができます。



■ドアの施錠・解錠

LOCK・UNLOCKスイッチを押すごとに施錠、解錠されます。

- スイッチはゆっくりと確実に押ししてください。
- スイッチを押し続けても、ドアの施錠、解錠は繰り返されません。スイッチを押しなおしてください。

◆ 知識

- リモコンスイッチは、周囲の状況により作動可能距離が変わることがあります。確実に作動させるためには、車へ約1mまで近づいて操作してください。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき、またはいずれかのドアが開いているときは作動しません。
- リモコンスイッチを押して解錠操作をしたあと、約30秒以内にドアを開けなかったときは、自動的に施錠されます。
- リモコンスイッチを押して施錠操作したときは、必ず施錠作動したことを確認してください。
- リモコンスイッチは、同じ車両で最大4個まで使用することができます。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

■トランクの解錠

トランクスイッチを約1秒間押し続けると、トランクが解錠されます。

- トランクスイッチはゆっくりと確実に押ししてください。
- トランクスイッチを約1秒以上押し続けても解錠を繰り返しません。スイッチを押しなおしてください。

◆ 知識

エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは作動しません。

◆ アドバイス

- リモコンスイッチを押しても作動しない場合、または著しく作動可能距離が短くなった場合、電池の消耗が考えられます。トヨタ販売店で点検を受けてください。
- リモコンスイッチは電子部品です。故障の原因となりますので、以下のことをお守りください。
 - ダッシュボードの上など、高温になる所に放置しないでください。
 - 分解しないでください。
 - 落としたり、強い衝撃をあてないでください。
 - 水にぬらさないでください。
- リヤウインドウガラスのアンテナ線部に次の物を貼りつけないでください。リヤウインドウガラスのアンテナ線でリモコンスイッチからの電波を受信しているため、受信感度が低下し、ワイレスドアロックが作動しなくなるおそれがあります。
 - 金属を含有するウインドウフィルム
 - その他の金属物
(トヨタ純正品以外のアンテナなど)
- リモコンスイッチを紛失したときは、盗難・事故などを防ぐため、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。

パワーウィンドウ

⚠ 警告

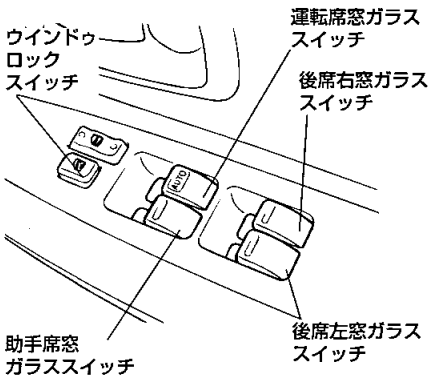
窓ガラスを閉めるときは、他の人の手や頭などをはさまないように注意してください。窓ガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

運転席スイッチ

スイッチ操作で窓ガラスの開閉ができます。

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

運転席スイッチですべての窓ガラスの開閉が行えます。運転席・助手席窓ガラスはスイッチ操作により自動で開けることもできます。



- 窓ガラスを開けるときは
スイッチを押している間、開きます。
スイッチから手を離すと、その位置で停止します。
- 窓ガラスを閉めるときは
スイッチを引いている間、閉まります。
スイッチから手を離すと、その位置で停止します。
- 運転席・助手席窓ガラスを自動で開けるときは
 - 全開するときには、スイッチを強く押して手を離します。途中で止めたいときはスイッチを軽く引き上げます。
- 運転席窓ガラスを自動で閉めるときは
 - 全閉するときにはスイッチを強く引き上げて手を離します。途中で止めたいときはスイッチを軽く押します。

🎓 知識

助手席窓ガラスを自動で閉めることはできません。

助手席・後席スイッチ

スイッチ操作で窓ガラスの開閉ができます。

エンジンスイッチがONのとき使用できません。

スイッチを押している間は開き、引いている間は閉まります。

スイッチから手を離すと、その位置で停止します。

ただしウィンドウロックスイッチがONになっているときは、スイッチを操作しても作動しません。



アドバイス

- 運転席スイッチと他のドアのスイッチを同時に逆方向に動かさないでください。パワーウィンドウの故障の原因になります。
- 窓ガラスの全開、全閉後に同じ方向にスイッチを押し続けしないでください。パワーウィンドウの故障の原因になります。

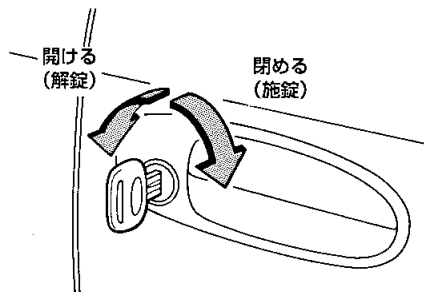
キーOFF後作動機能

運転席窓ガラスは、エンジンスイッチをACCまたはLOCKにしたあとも約45秒間は開閉することができます。

ただしエンジンスイッチをACCまたはLOCKにしたあとの約45秒間に、運転席ドアを開けてから、いったん閉めるとガラスの開閉はできなくなります。

ドアキー連動開閉機構

運転席ドアのキーシリンダーにキーを差し込み、解錠側へいっぱいにもわしたまま保持すると運転席窓ガラスが開き、施錠側へいっぱいにもわしたまま保持すると運転席窓ガラスが閉まります。



アドバイス

窓ガラスの全開、全閉後に同じ方向にキーをまわし続けしないでください。パワーウィンドウの故障の原因になります。

挟み込み防止機構

運転席窓ガラスを閉めるときに、窓枠と窓ガラスの間に異物の挟み込みを感知すると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し開き、停止します。

⚠ 注意

窓ガラスを確実に閉めるため、閉じ切り直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まないように注意してください。



アドバイス

故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、運転席窓ガラスを自動で閉めれないときは、スイッチを引き続けると閉めることができます。





知識

- 挟み込み防止機構は、窓ガラスを運転席スイッチにより自動で閉めているときと、キーOFF後作動中やドアキー操作により窓ガラスを閉めているときに作動します。
- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じ衝撃や荷重が窓ガラスに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。

ウィンドウロックスイッチ

ウィンドウロックスイッチをONにすると運転席窓ガラス以外のパワーウィンドウは作動しません。お子さまを乗せるときなどにご使用ください。スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。

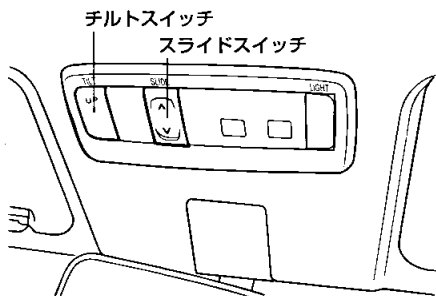
ウィンドウロックスイッチ	運転席スイッチ	助手席、後席スイッチ
ON 	運転席窓ガラスの開閉ができます。	開閉できません。
OFF 	すべての窓ガラスの開閉ができます。	開閉できません。

UVカットガラス

フロントウィンドウシールドガラス、全窓ガラスおよびバックウィンドウガラスには紫外線をカットするUVカットガラスが使われています。

ムーンルーフ★

エンジンスイッチがONのとき使用できます。



⚠ 警告

- ルーフを閉めるときは他の人の手や顔などをはさまないように注意してください。ルーフにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 走行中はルーフから手や顔を出さないでください。車外の物などに当たったり、急ブレーキをかけたときに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 開口部に腰かけないでください。ルーフがへこんだり、万一のとき車から投げ出され、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

ルーフから荷物がはみ出さないようにしてください。車外の物に当たるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- 車から離れるときや、洗車時には完全に閉まっていることを確認しましょう。
- ルーフ上に水や雪がないことを確認してから開けましょう。水や雪がある状態を開けると、室内に水や雪がはいり、ぬれることがあります。

スライド開閉

■開けるときは

スライドスイッチのうしろ側を押すとムーンルーフが自動で開きます。

- 途中で止めるにはスライドスイッチまたはチルトスイッチを押します。

室内への風の巻き込みを防ぐディフレクターが自動的に上がります。

■閉めるときは

スライドスイッチの前側を押すとムーンルーフが自動で閉まります。

- 途中で止めるにはスライドスイッチまたはチルトスイッチを押します。

チルトアップ/チルトダウン

■チルトアップするときは

ムーンルーフが閉まっているとき、チルトスイッチのうしろ側を押すと自動でチルトアップします。

●途中で止めるにはスライドスイッチまたはチルトスイッチを押します。

■チルトダウンするときは

チルトアップしているとき、チルトスイッチの前側を押すと自動でチルトダウンします。

●途中で止めるにはスライドスイッチまたはチルトスイッチを押します。



アドバイス

ムーンルーフを全開、全閉したあとにスイッチを押し続けしないでください。ムーンルーフの故障の原因になります。

キーOFF後作動機能

ムーンルーフは、エンジンスイッチをACCまたはLOCKにしたあとでも約45秒間は開閉することができます。ただしエンジンスイッチをACCまたはLOCKにしたあとの約45秒間に、運転席ドアを開けてから、いったん閉めるとムーンルーフの開閉はできなくなります。

サンシェード

- 手動で開閉できます。
- ムーンルーフを開けると連動して開きます。

挟み込み防止機構

ムーンルーフを自動でスライドして閉めるときと、自動でチルトダウンするとき、ルーフが異物の挟み込みを感知すると、作動を停止し、自動で少し開き、停止します。

⚠ 注意

ムーンルーフを確実に閉めるため、閉じ切り直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まないように注意してください。



アドバイス

故障などで挟み込み防止機構が作動してしまいルーフが閉められないときは、スイッチを押し続けると閉めることができます。



知識

- 挟み込み防止機構は、キーOFF後作動でムーンルーフを開けているときにも作動します。
- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じ衝撃や荷重がムーンルーフに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。

トランク

⚠ 警告


- 人を絶対に乗せないでください。急なブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- トランクは中から開けることができません。お子さまがはいらないように注意してください。閉じ込められると重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

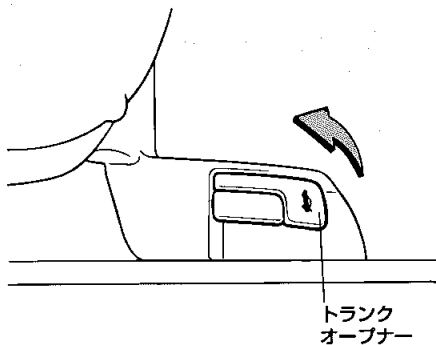
■車外からの開け方

マスターキーを差し込み、右にまわすと開きます。

サブキーでは解錠できません。

■車内からの開け方

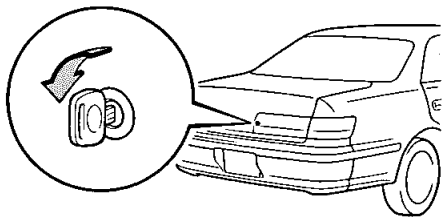
トランクオープナー  を引くと開きます。



■施錠のしかた

マスターキーを差し込み、左にまわすと室内のトランクオープナーで開かないようにすることができます。

サブキーでは施錠できません。



■トランク灯

トランクを開けると、トランク灯が点灯します。


👉 アドバイス

エンジンを停止しているときは、トランクを長時間開けたままにしないでください。バッテリーあがりを起こすおそれがあります。

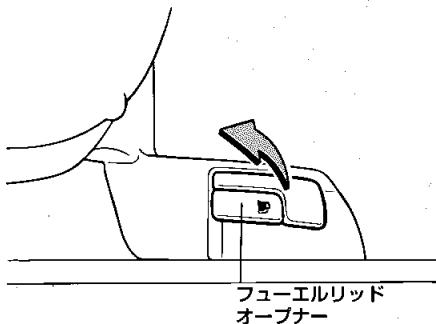
🎓 知識

- ワイヤレスドアロック付き車は、リモコンスイッチを使ってもトランクを開けることができます。(76ページ参照)
- 盗難を防ぐため、トランク内に貴重品を置かないようにしましょう。

フューエルリッド (燃料補給口)

フューエルリッドオープナー  を引くと開きます。

燃料タンク容量は70ℓです。



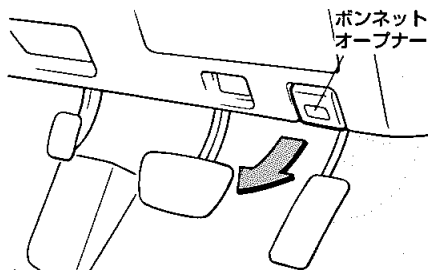
⚠ 警告

- 燃料補給時には次のことを必ずお守りください。燃料は引火しやすいため、守らないと火災になるおそれがあり危険です。
- エンジンは必ず止めてください。
- タバコを吸うなど火気を近づけないでください。
- 急激にフューエルキャップを開けないでください。燃料補給口部より吹き返しが発生し、重大な傷害を受けたり、火災になるおそれがあり危険です。
- フューエルキャップの取り扱いについては次のことも必ずお守りください。守らないと燃料漏れを起こし、火災になるおそれがあり危険です。
 - 燃料補給後はフューエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。
 - 車にあったトヨタ純正のフューエルキャップ以外は使用しないでください。

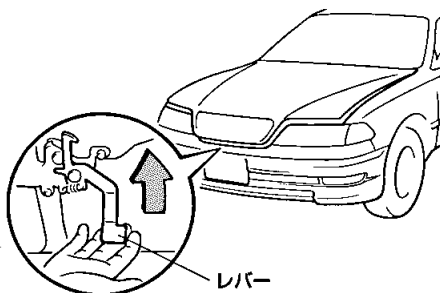
ボンネット

■開けるときは

- 1 運転席インストルメントパネル右下にあるボンネットオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。



- 2 ボンネットのすき間に手をいれ、レバーを押し上げ、ボンネットフックをはずして持ち上げます。



■閉めるときは

- 1 ボンネットをおろします。
- 2 前端を押さえつけロックします。

⚠ 注意

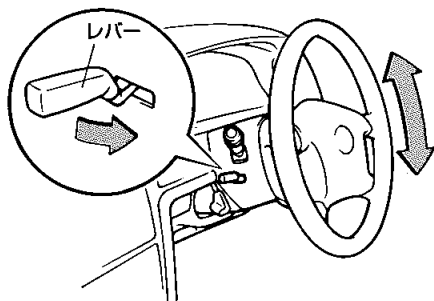
走行前にボンネットが確実にロックされていることを必ず確認してください。ロックせずに走行するとボンネットが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

各部の調整

ハンドル

■上下調整のしかた

ハンドルを持ったまま上下調整レバーをいっぱい引き、ハンドルを適切な位置にして、上下調整レバーから手を離せば固定されます。

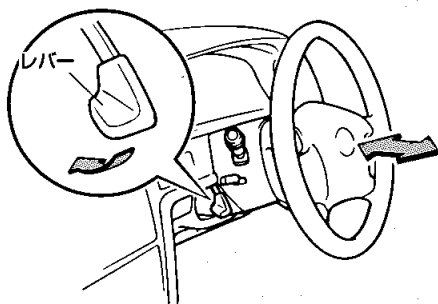


■はね上げのしかた

ハンドルから手を離して上下調整レバーをいっぱい引くと、ハンドル全体がはね上がります。

■前後調整のしかた★

前後調整レバーを押し下げて、ハンドルを前後に動かし適切な位置にして、レバーを引き上げれば固定できます。



⚠ 警告

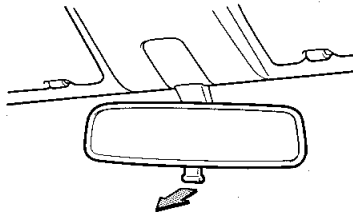
- 走行中はハンドル位置の調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故の原因となって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドル位置を調整したあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり思わぬ事故の原因となって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

インナーミラー (防眩ミラー)

通常はミラー下側のレバーを前方に押し
た状態で使用します。

後続車のヘッドライトがまぶしいときは
レバーを手前に引きます。



⚠ 注意

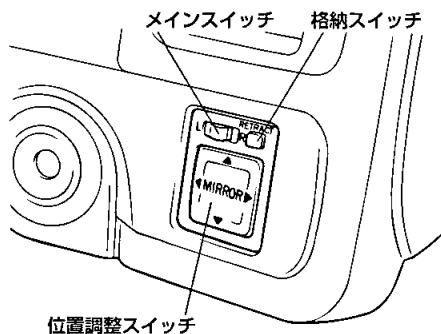
走行中はミラーの調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドアミラー

■鏡面調整のしかた

エンジンスイッチがACCまたはONのとき使用できます。

- 1メインスイッチを右側（R）または左側（L）に動かします。
- 2位置調整スイッチでミラーの角度を調整します。
- 3調整したあとはメインスイッチを中立の位置にもどします。



⚠ 注意

- 走行中は、ミラーの調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ミラーを倒したまま走行しないでください。ミラーによる後方確認ができず事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

ドアミラーはフェンダーミラーと比べ次の点で異なります。

- ミラーの張り出しが約10cm大きくなります。
- ミラーに映る物の距離感覚が違います。（ドアミラーの方が物が近くに見えます。）

■ドアミラーの格納・復帰

ミラーを後方に倒すことができます。エンジンスイッチがACCまたはONのとき使用できます。

格納スイッチを押すごとにON（格納）とOFF（復帰）に切り替わります。

	スイッチの状態	ミラーの状態
ON (格納)		
OFF (復帰)		

- エンジンスイッチがLOCKのときは、手動で操作することもできます。
- 次の場合は、ミラーを手動で操作しても、ミラーはスイッチの状態になりません。
 - 手動で操作したあとにACCまたはONにしたとき
 - ただし格納スイッチがOFFで、手動で前方へ倒したときは、エンジンスイッチをACCまたはONにしたあと格納スイッチをONにすることにより正常作動にもどります。

⚠ 注意

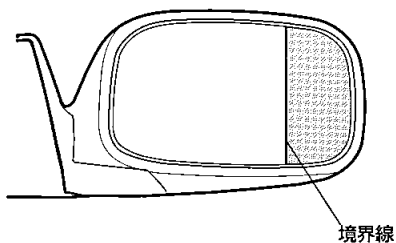
ミラーが動いているときは手を触れたりしないでください。手をはさんでけがをしたり、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

🎓 知識

ミラー格納作動中に、エンジンスイッチをLOCKの位置にすると格納作動が停止します。

ワイドビュードアミラー★

ワイドビュードアミラーは、境界線の内側と外側で曲率を変えたもので、境界線の内側は通常のドアミラーと同じですが、境界線より外側は通常のドアミラーよりも視界が広い範囲まで確保できるようになっています。



知識

ミラーの内側と外側では、映る物の距離感が異なります。

●境界線より外側に映る物は、内側に映る物に比べて、実際よりも遠くにあるように見えます。

(通常のドアミラーに比べて遠くにあるように見えます。)

ミラーヒータースイッチ★

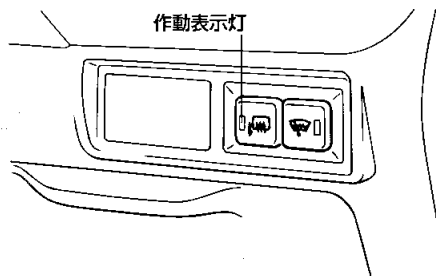
ドアミラーの鏡面を暖めて、霜、露、雨滴などを取り除きます。

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

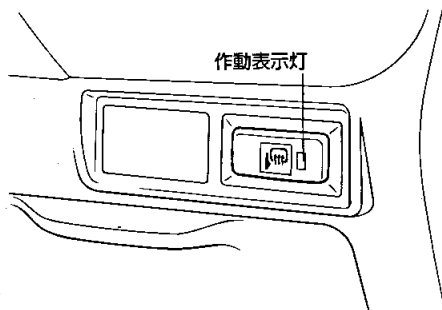
●スイッチを押すと約15分間作動します。もう一度押すと、停止します。

●作動中は作動表示灯が点灯します。

熱線入りフロントウィンドウシールドガラス付き車



熱線入りフロントウィンドウシールドガラス付き車を除く



知識

連続して長時間使用すると、バッテリーあがりの原因となります。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

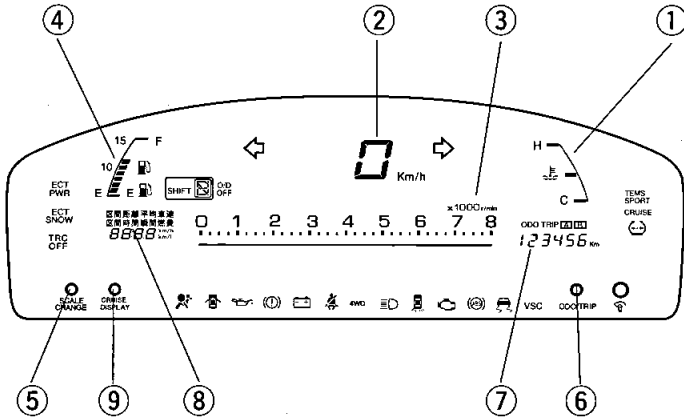
無断複製禁止

メーター、表示灯、警告灯の見方

メーター

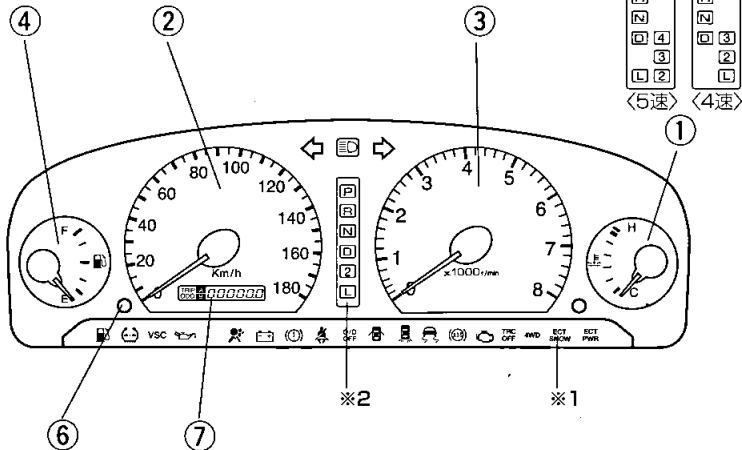
ガソリン車

スペースビジョンメーター



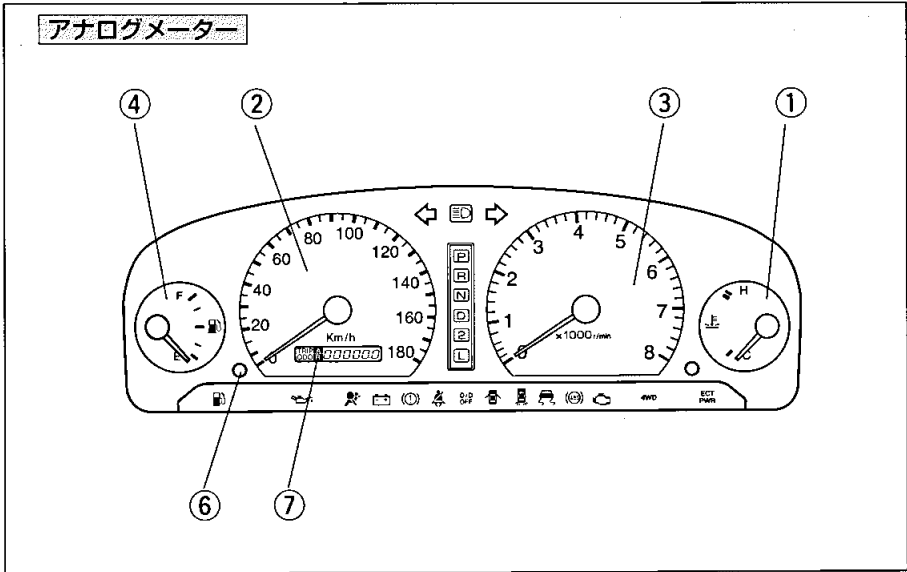
オブティロンメーター

※2 ゲート式チェンジレバー装着車



※1 1JZ-GTEエンジン搭載車はETCS SNOWになります。

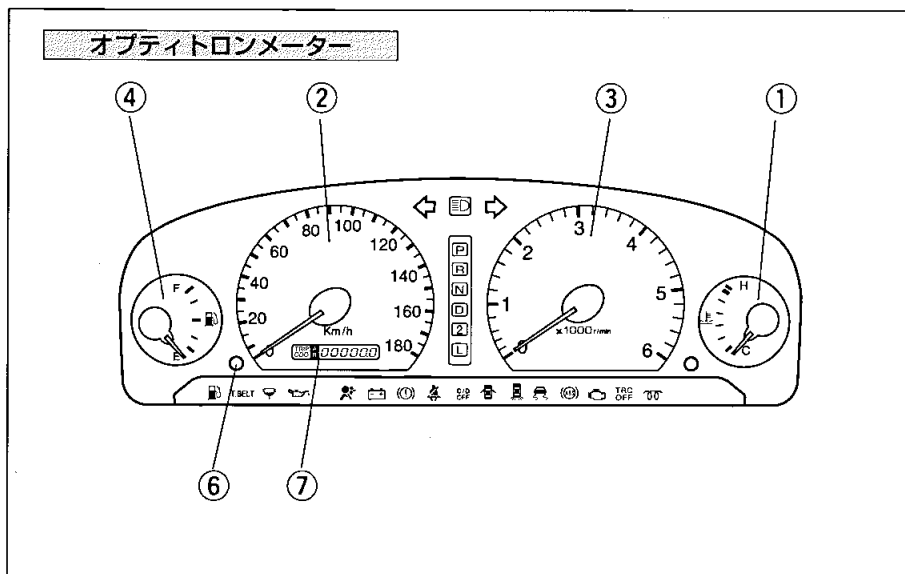
アナログメーター



- ①水温計
- ②スピードメーター
- ③タコメーター
- ④燃料計
- ⑤燃料計拡大表示ボタン
- ⑥オドメーター・トリップメーター切り替えボタン
(トリップメーターリセットボタン)
- ⑦オドメーター、トリップメーター
- ⑧クルーズインフォメーションディスプレイ
- ⑨クルーズインフォメーションディスプレイ表示切り替えボタン

図ではすべてのグレード・エンジン等における警告灯・表示灯を掲載しています。
 実際のお車に設定される警告灯・表示灯はグレード・エンジン等により異なります。

ディーゼル車



- ①水温計
- ②スピードメーター
- ③タコメーター
- ④燃料計
- ⑥オドメーター・トリップメーター切り替えボタン
(トリップメーターリセットボタン)
- ⑦オドメーター、トリップメーター

図ではすべてのグレード・エンジン等における警告灯・表示灯を掲載しています。実際のお車に設定される警告灯・表示灯はグレード・エンジン等により異なります。

①水温計

エンジンスイッチがONのとき、エンジン冷却水の温度を示します。



アドバイス

指針（表示）がHのレッドゾーンにはいったときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、247ページの「オーバーヒートしたときは」にしたがって処置をしてください。

②スピードメーター

車両の走行速度を示します。

③タコメーター

毎分のエンジン回転数を示します。



アドバイス

指針（表示）がレッドゾーン（エンジンの許容回転数を越えている範囲）にはいらないように運転してください。指針（表示）がレッドゾーンにはいる運転を続けるとエンジンなどに悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあります。

④燃料計

燃料残量を示します。
燃料補給後、指示が安定するまで少し時間がかかります。
燃料タンク容量は70ℓです。



知識

オブティロンメーター

坂道やカーブなどではタンク内の燃料が移動するため指針が振れることがあります。

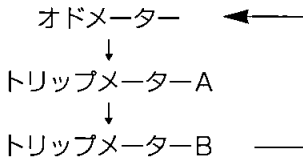
⑤燃料拡大表示ボタン

スペースビジョンメーター

燃料計拡大表示ボタンを押すと、数秒間約15ℓ以下の残量を拡大表示します。

⑥オドメーター、トリップメーター 切り替えボタン

- ボタンを押すごとに次のように表示が切り替わります。



- トリップメーターを0にもどすときはオドメーター・トリップメーター切り替えボタンを押し続けます。

⑦オドメーター/トリップメーター

■オドメーター

走行した総距離をkmの単位で示します。

■トリップメーター

2種類の区間距離（トリップA、トリップB）を、kmの単位で示します。

知識

バッテリーとの接続が断たれたときは、トリップメーターは0になります。

⑧クルーズインフォメーション ディスプレイ

スペースビジョンメーター

エンジンスイッチがONのとき次の数値を、メーター内に表示します。

■区間距離 (0.0km)

エンジン始動後の走行距離を表示します。

■区間時間 (0:00)

エンジン始動後の経過時間を表示します。

■平均車速 (00.0km/h)

エンジン始動後の平均車速を表示します。

- 約10秒ごとに更新します。

知識

エンジン始動後発進するまでは前回エンジンを停止したときの値を表示します。

■燃費 (0.0km/l)

エンジン始動後からの平均燃費を表示します。

- 約10秒ごとに更新します。

知識

エンジン始動後発進するまでは前回エンジンを停止したときの値を表示します。

■瞬間燃費 (00km/ℓ)

エンジン回転中、約2秒間ごとの瞬間燃費を表示します。

**知識**

次の場合、表示が「--km/ℓ」になります。

- エンジンが回転していないとき
- 燃費の計測ができなかったとき

**⑨クルーズインフォメーション
ディスプレイ切り替えボタン**

ボタンを押すごとに次のように表示が切り替わります。

区間距離



区間時間



平均車速



燃費



瞬間燃費

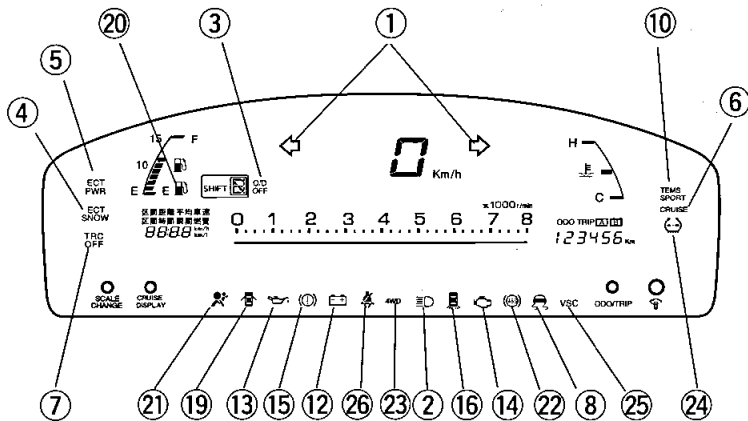


消灯



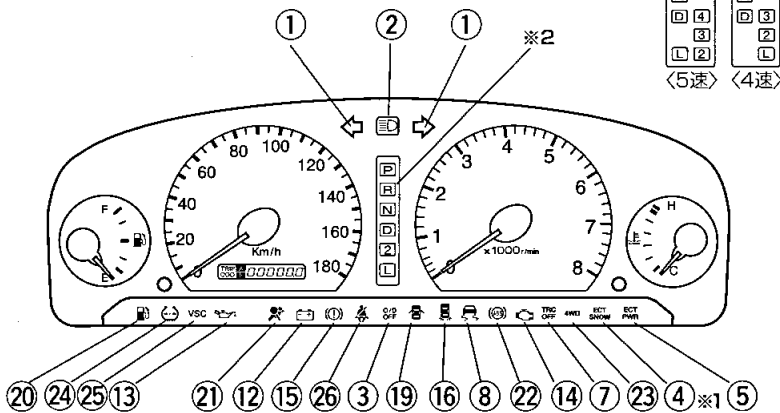
表示灯、警告灯

スペースビジョンメーター (ガソリン車)



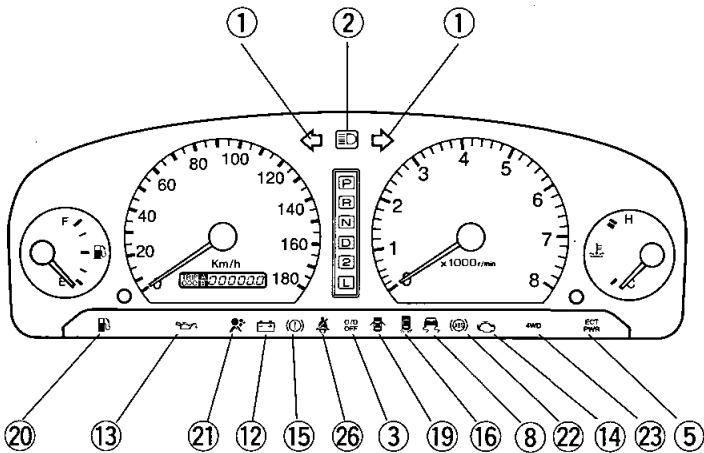
オプティロンメーター (ガソリン車)

※2 ゲート式チェンジレバー装着車



※1 1JZ-GTEエンジン搭載車は⑨ [ETCS SNOW] になります。

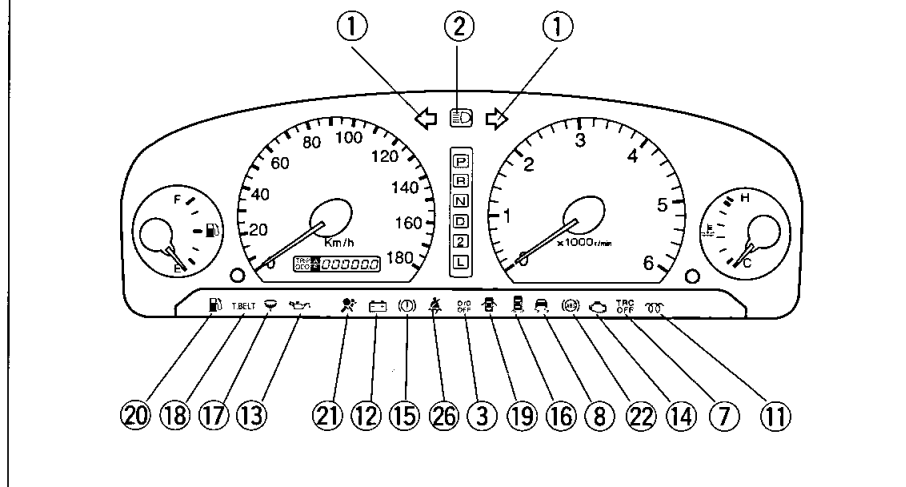
アナログメーター (ガソリン車)



- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| ①方向指示表示灯 | ⑮ブレーキ警告灯 |
| ②ヘッドランプ上向き表示灯 | ⑯断線警告灯 |
| ③オーバードライブOFF表示灯 | ⑰半ドア警告灯 |
| ④ECT SNOW表示灯 | ⑱燃料残量警告灯 |
| ⑤ECT PWR表示灯 | ⑲SRSエアバッグ警告灯
プリテンショナー警告灯 |
| ⑥クルーズコントロール表示灯 | ⑳ABS警告灯
ブレーキアシスト警告灯 |
| ⑦TRC OFF表示灯 | ㉑4WD警告灯 |
| ⑧スリップ表示灯 | ㉒タイヤ空気圧警告灯 |
| ⑨ETCS SNOW表示灯 | ㉓VSC警告灯 |
| ⑩TEMS表示灯 | ㉔運転席シートベルト非着用警告灯 |
| ⑫充電警告灯 | |
| ⑬油圧警告灯 | |
| ⑭エンジン警告灯 | |

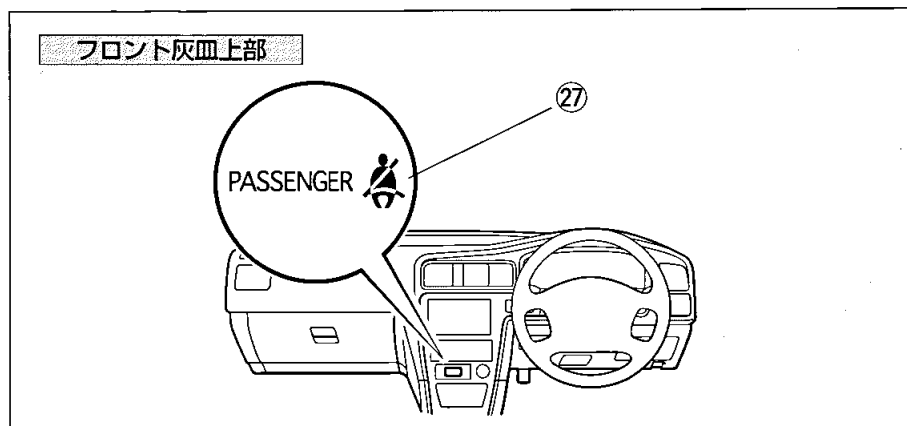
図ではすべてのグレード・エンジン等における警告灯・表示灯を掲載しています。実際のお車に設定される警告灯・表示灯はグレード・エンジン等により異なります。

オプティロンメーター (ディーゼル車)



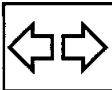
- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| ①方向指示表示灯 | ⑬断線警告灯 |
| ②ヘッドランプ上向き表示灯 | ⑭燃料・水分離器水位警告灯 |
| ③オーバードライブOFF表示灯 | ⑮タイミングベルト交換警告灯 |
| ⑦TRC OFF表示灯 | ⑯半ドア警告灯 |
| ⑧スリップ表示灯 | ⑰燃料残量警告灯 |
| ⑪予熱表示灯 | ⑱SRSエアバッグ警告灯
プリテンショナー警告灯 |
| ⑫充電警告灯 | ⑳ABS警告灯 |
| ⑬油圧警告灯 | ㉑運転席シートベルト非着用警告灯 |
| ⑭エンジン警告灯 | |
| ⑮ブレーキ警告灯 | |

図ではすべてのグレード・エンジン等における警告灯・表示灯を掲載しています。実際のお車に設定される警告灯・表示灯はグレード・エンジン等により異なります。



②7助手席シートベルト非着用警告灯

①方向指示表示灯



方向指示灯、非常点滅灯を作動させると点滅します。



アドバイス

点滅が異常に速くなったときは、方向指示灯の電球切れが考えられます。方向指示灯が点滅するか確認してください。

②ヘッドランプ
上向き表示灯

ヘッドランプを上向きにすると点灯します。

③オーバードライブ
OFF表示灯O/D
OFFAT車のストレート式チェンジレ
バー装着車

オーバードライブスイッチをOFFにすると点灯します。(125ページ参照)



アドバイス

走行中(オーバードライブスイッチがONのとき)、表示灯が点滅したときは、オートマチックトランスミッションのシステム異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

④ECT SNOW表示灯

ECT
SNOW

ECT SNOWスイッチ付き車

ECTパターンセレクトスイッチを押してSNOW(スノーモード)を選択したときに点灯します。(130、133ページ参照)



アドバイス

ゲート式チェンジレバー装着車

走行中、表示灯が点滅したときは、オートマチックトランスミッションのシステム異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

⑤ ECT PWR表示灯

ECT
PWR

ECT PWRスイッチ付き車

ECTパターンセレクトスイッチを押してPWR（パワーモード）を選択したときに点灯します。（130、131、133ページ参照）



アドバイス

ゲート式チェンジレバー装着車

走行中、表示灯が点滅したときは、オートマチックトランスミッションのシステム異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

⑥クルーズコントロール表示灯

CRUISE

クルーズコントロール付き車

クルーズコントロールをセットすると点灯します。（143ページ参照）



アドバイス

定速走行中に表示灯が点滅したときは、メインスイッチを一度OFFにしてから再度セットしてください。

以上の操作をしても、セットできないまたはセットしてもすぐ解除される場合はシステムの異常が考えられます。走行上支障はありませんがトヨタ販売店で点検を受けてください。

⑦ TRC OFF表示灯

TRC
OFF

TRC OFFスイッチ付き車

エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

TRC OFFスイッチを押して、OFFモード（トラクションコントロールシステム作動停止状態）にすると点灯します。（66、139ページ参照）

VSC付き車は、走行中にVSCシステムに異常があるとVSC警告灯が点灯するとともに、TRC OFF表示灯が点灯します。



アドバイス

表示灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられます。走行上支障はありませんがトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき
- 表示灯が点滅したままのとき
- トラクションコントロールが通常走行モード（作動可能状態）のときに、表示灯が点灯したままのとき、または走行中に点灯したとき

⑧スリップ表示灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
その後、次のときに点滅します。

トラクションコントロール付き車

走行中にトラクションコントロールシステムが作動すると、表示灯が点滅し、後輪の空転を制御していることを示します。(66ページ参照)

2500ターボ車

走行中にトラクションコントロールシステムが作動すると、表示灯が点滅し、後輪の空転を制御していることを示します。(139ページ参照)

VSC付き車

走行中に車両が横すべりしそうになると、VSC作動警告ブザー（断続音）、スリップ表示灯の点滅で警報します。(68ページ参照)

4WD車

走行中にタイヤがスリップすると表示灯が点滅します。(146ページ参照)

⚠ 注意

走行中に表示灯が点滅したときは、とくに慎重に運転してください。
慎重に運転しないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**アドバイス**

表示灯が次のようになったときは、システムの異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき。

⑨ ETCS SNOW表示灯

ETCS
SNOW

2500ターボ車

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。ETCS SNOWスイッチを押して、SNOWモードを選択したときに点灯します。(139ページ参照)



アドバイス

警告灯が点滅したときはシステムの異常が考えられます。走行上支障はありませんがトヨタ販売店で点検を受けてください。なお、スノーモードを選択しているときに警告灯が点滅すると、通常走行モードに自動的に切り替わります。

⑩ TEMS表示灯

TEMS
SPORT

スカイフックTEMS付き車

エンジンスイッチがONのとき、TEMS選択スイッチを押して、スカイフックTEMSのスポーツモード(SPORT)を選択すると点灯します。(142ページ参照)

⑪ 予熱表示灯



ディーゼル車

エンジンスイッチをONにすると点灯し、予熱プラグの加熱が完了すると消灯します。



アドバイス

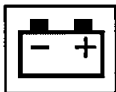
表示灯が点灯しているときにエンジンをかけると、バッテリーの寿命に悪影響をおよぼします。消灯してからエンジンをかけてください。



知識

表示灯の点灯時間は、エンジンが冷えていると長くなります。

⑫充電警告灯



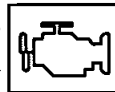
エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。エンジン回転中、充電系統に異常があると点灯します。



アドバイス

エンジン回転中に点灯したときは、Vベルトの切れなどが考えられます。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。

⑭エンジン警告灯



VSC付き車、5速AT車を除く

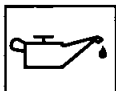
エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯します。



アドバイス

エンジン回転中に点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

⑬油圧警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力に異常があると点灯します。

オイル量の点検はオイルレベルゲージにより行ってください。

(点検方法は「メンテナンスノート」を参照してください。)



アドバイス

エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止めて、エンジンオイル量を点検してください。エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、トヨタ販売店へご連絡ください。

VSC付き車、5速AT車

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。エンジン回転中、エンジン電子制御システムまたは電子制御スロットルに異常があると点灯します。



アドバイス

- エンジン回転中に点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- 警告灯が点灯し、アクセルペダルをおおよそ中間位置まで踏んでもエンジン回転数が増えないときは電子制御系の異常が考えられます。このときは、アクセルペダルをさらに踏み込むと低速で走行ができます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。なお、この低速走行中に万一電子制御系の異常が解消した場合でも、エンジンを止めてエンジンスイッチをACCまたはLOCKにするまでは正常状態に復帰することはありません。

⑮ブレーキ警告灯



エンジンスイッチがONで次のような場合に点灯します。

- パーキングブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- ブレーキブースター<ブレーキ倍力装置>系統の異常（ディーゼル車）

⚠ 注意

エンジン回転中にパーキングブレーキを解除しても、ブレーキ液を補給しても点灯したままのときは、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。この場合ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあります。効きが悪いときはブレーキペダルを強く踏んでください。

■警告ブザー

ディーゼル車

オルタネーターベルトに異常があると、ブザーが鳴ります。

⚠ 注意

エンジン回転中にブザーが鳴ったときは、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。この場合、ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあります。効きが悪いときはブレーキペダルを強く踏んでください。

🎓 知識

ディーゼル車では、エンジンスイッチがONで次のような場合、ブザーが鳴ることがありますが異常ではありません。

- この場合、エンジンをかけると止まります。
- エンジン停止状態が続いたとき
 - エンストしたとき

⑯断線警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。エンジン回転中、次のときに尾灯または制動灯の電球が切れていることを感知して点灯します。

- 尾灯はライトスイッチをONにしたとき
- 制動灯はブレーキペダルを踏んだとき

⑰燃料・水分離器水位
警告灯

ディーゼル車

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。エンジン回転中、燃料・水分離器内に規定レベル以上の水がたまると点灯します。



アドバイス

点灯したまま走行を続けしないでください。噴射ポンプが焼きつきエンジンを損傷するおそれがあります。点灯したときは、すみやかに排水してください。(218ページ参照)

⑱タイミングベルト交換
警告灯

T-BELT

ディーゼル車

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。走行距離が10万kmをこえるとエンジン回転中に点灯し、タイミングベルトの交換時期であることをお知らせします。



アドバイス

- 点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検をうけてください。
- 点灯したまま走行を続けると、タイミングベルトが切れてエンジンを損傷するおそれがあります。

⑲半ドア警告灯



いずれかのドアが確実に閉まっていないときに点灯します。

⚠ 注意

警告灯が点灯したまま走行しないでください。ドアが確実に閉まっていないため、走行中にドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

⑳燃料残量警告灯



エンジンスイッチがONのとき残量が約10ℓ以下になると点灯します。点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。



知識

オフティロンメーター

坂道やカーブなどではタンク内の燃料が移動するため警告灯が早めに点灯することがあります。

⑲ SRSエアバッグ警告灯/ プリテンショナー警告灯



エンジンスイッチをONまたはACCにすると点灯し、数秒後に消灯します。その後、SRSエアバッグシステムまたはプリテンショナー付シートベルトに異常があると点灯・点滅します。

⚠ 注意

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。衝突したときなどにSRSエアバッグまたはプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

- エンジンスイッチをONまたはACCにしても点灯しないとき、または点灯・点滅したままのとき
- 走行中に点灯・点滅したとき

⑳ ABS警告灯/ ブレーキアシスト 警告灯*



エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。その後、ABSシステムまたはブレーキアシストシステムに異常があると点灯します。警告灯が点灯しているときには、ABSおよびブレーキアシスト*は作動しませんが、通常のブレーキとしての性能は確保されています。

👉 アドバイス

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき
- 走行中に点灯したとき

なお、走行中に点灯しても、その後消灯し再度点灯しなければ正常です。

🎓 知識

警告灯が点灯しているときは、ABSが作動しないため、急制動やすべりやすい路面での制動時には車輪がロックすることがあります。

*ブレーキアシスト付き車

②3 4WD 警告灯

4WD

4WD車

エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

その後、4WDシステムに異常があると点灯します。



アドバイス

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき
- 走行中に点灯したとき

②4 タイヤ空気圧警告灯



タイヤ空気圧警報システム付き車

エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

走行中、タイヤ空気圧が低下すると点灯します。点灯したときは、ただちに空気圧を調整してください。

空気圧は運転席ドアを開けたボディ側に貼られている「タイヤ空気圧」の表または232ページのメンテナンスデータで正しい空気圧を確認のうえ、調整してください。

なおこの場合、正しい空気圧に調整したあと、約30km/h以上の速度でしばらく走行すると警告灯が消灯します。

(148ページ参照)



アドバイス

- 次のような場合はシステムが正常に作動しないため、タイヤ空気圧が低下しても警告灯が点灯しなかったり、タイヤ空気圧が正常であるのに警告灯が点灯したりすることがあります。
 - 指定サイズ以外のタイヤを使用したり、異なるサイズ、異なる種類のタイヤを混ぜて使用しているとき、または、四輪の中に著しく摩耗程度の異なるタイヤがあるとき。
 - 応急用タイヤ、スタッドレスタイヤ、スノータイヤを使用しているときやタイヤチェーンを装着しているとき。
 - 正しい空気圧より極端に高い空気圧のタイヤを使用しているときや走行中のバースト（破裂）などにより急激にタイヤ空気圧が低下したとき。
 - 極端に荒れた路面や凍結路などのすべりやすい路面を走行しているとき。また約30km/h未満の速度で走行しているとき、および約5分未満の短時間の走行。
- タイヤ、ホイールの交換を行ったときはシステムの初期調整操作が必要です。初期調整を行わないとシステムが正常に作動しなくなることがあります。操作方法は150ページの「タイヤ、ホイールを交換したときは」をご覧ください。
- これらの場合以外で、正しい空気圧に調整したにもかかわらず、走行中に警告灯が点灯するときはシステムの異常が考えられます。トヨタ販売店で点検を受けてください。

②5 VSC 警告灯

VSC

VSC付き車

エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

その後、VSCシステムまたはブレーキアシストシステムに異常があると点灯します。(同時にTRC OFF表示灯も点灯します。)

警告灯が点灯しているときはVSCおよびブレーキアシストは作動しませんが、通常の走行には支障ありません。



アドバイス

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、トヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき
- 点灯したままのとき

②6 運転席シートベルト非着用警告灯



エンジンスイッチがONのときに運転席シートベルトを着用していないと点滅します。ただちにシートベルトを着用してください。

②7 助手席シートベルト非着用警告灯

PASSENGER



エンジンスイッチがONで、かつ助手席シート座面の乗員検知センサーが乗員を検知したときに、助手席シートベルトを着用していないと点滅します。ただちにシートベルトを着用してください。

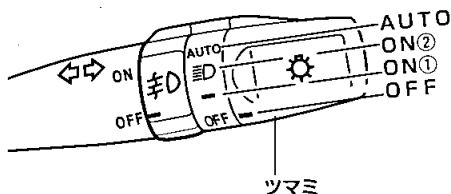
知識

- センサーは、助手席シート座面（うしろ半分）に、一定以上の重量がかかったとき検知します。したがって、荷物などを置いた場合にも検知し、警告灯が点滅することがあります。
- 助手席シート座面上に座布団などを敷くと、重量が分散され、センサーが乗員を検知しない場合があります。

視界の確保

ライトスイッチ

コンライト (自動点灯・消灯装置) ★



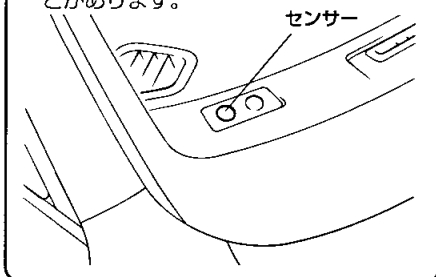
■自動で使うときは

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

- ツマミをAUTOの位置にまわすと、周囲の明るさに応じてヘッドランプ、車幅灯などが自動で点灯・消灯します。
- エンジンを止め、運転席ドアを開けると自動的に消灯します。エンジンスイッチをONにすると再び点灯します。

知識

- ランプの点灯・消灯が早いまたは遅いと感じたときは、感度の調整ができますのでトヨタ販売店へご相談ください。
- コンライトのセンサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけると、センサーが正常に作動しなくなることがあります。



★印はグレード等により装着の有無が異なります。

■手動で使うときは

エンジンスイッチに関係なく使用できます。

ツマミをまわすとON①、ON②の位置で、下表○印のランプが点灯します。

ツマミの位置	①	②
ヘッドランプ	—	○
車幅灯、尾灯	○	○
番号灯	○	○

■ヘッドランプを上向きに切り替えるには

ライトスイッチがON②の位置のとき、およびAUTOの位置でヘッドランプが点灯しているときレバーを前方に押しします。

ヘッドランプが上向きのときはメーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

■パッシング (追い越し合図) するには

ライトスイッチがOFFでもレバーを手前に引いている間、ヘッドランプが上向きとなります。

メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

知識

完全に充電されたバッテリーでも、エンジンを停止した状態で長時間ライト類を点灯すると、バッテリーあがりの原因となります。

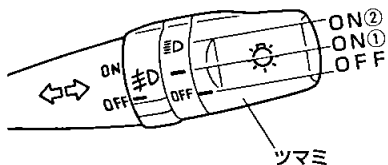
■ランプオートカットシステム

ライトスイッチがONのまま、エンジンスイッチをACCまたはLOCKの位置にして運転席ドアを開けるとランプ類を自動で消灯します。

- 次の操作をすると、再び点灯します。
 - エンジンスイッチをONにする。
 - ライトスイッチをOFFにし、もう一度ONにする。(この場合ドアを開けてもライトは消灯しません。)

手動式★

エンジンスイッチに関係なく点灯・消灯できます。



つまみをまわすとON①、ON②の位置で、下表○印のランプが点灯します。

つまみの位置	①	②
ヘッドランプ	—	○
車幅灯、尾灯	○	○
番号灯	○	○
メーター照明	○	○

■ヘッドランプを上向きに切り替えるには

ライトスイッチがON②の位置のときレバーを前方に押します。

ヘッドランプが上向きときはメーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

■パッシング（追い越し合図）するには

ライトスイッチがOFFでもレバーを手前に引いている間、ヘッドランプが上向き点灯します。

メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

■ランプオートカットシステム

ライトスイッチがONのまま、エンジンスイッチをACCまたはLOCKの位置にして運転席ドアを開けるとランプ類を自動で消灯します。

●次の操作をすると、再び点灯します。

- エンジンスイッチをONにする。
- ライトスイッチをOFFにし、もう一度ONにする。（この場合ドアを開けてもライトは消灯しません。）

知識

完全に充電されたバッテリーでも、エンジンを停止した状態で長時間ライト類を点灯すると、バッテリーあがりの原因となります。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

ディスチャージヘッドランプ★

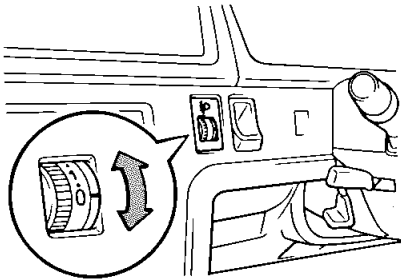
ディスチャージヘッドランプは、ランプ管内のガスと金属ヨウ化物を使って発光させ、通常のランプより白い光と伸び、広がりのある配光を持つランプです。

●ヘッドランプのロービームに装着されています。

■光軸上下調整

ディスチャージヘッドランプ（ロービーム）の光軸方向（光の照らす方向）を下向きに調整できます。

ヘッドランプ（ロービーム）が点灯しているときに使用できます。



- 通常は0の位置（光軸がいちばん上向きの位置）で使用します。
- 荷物や人を載せることにより車両前面が上を向いて、ヘッドランプの照らす範囲がいつもとちがう（いつもより上向きになっている）ときに、ツマミをまわしてヘッドランプの光を下向きにします。

荷物や人をおろしたあとには、必ずツマミを0の位置にもどしておいてください。

⚠ 警告

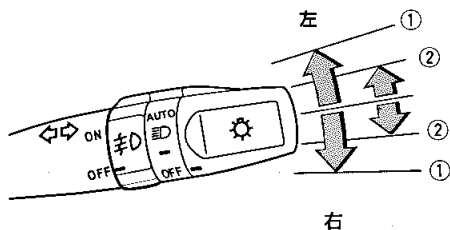
ディスチャージヘッドランプバルブを交換するときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。ディスチャージヘッドランプは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いをすると感電のおそれがあり危険です。

🎓 知識

車検などで光軸調整をするときは光軸上下調整ツマミを0の位置（いちばん上向きの位置）にしてから行ってください。

方向指示レバー

エンジンスイッチがONのとき使用できます。



- ①レバーを上または下へ操作すると、左または右側の方向指示灯が点滅します。メーターにある方向指示表示灯も点滅します。

レバーはハンドルをもどすと自動的にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。

- ②車線変更などのときには、レバーを軽く上または下へ押さえている間、それぞれの方向指示灯および方向指示表示灯が点滅し、手を離すと消灯します。



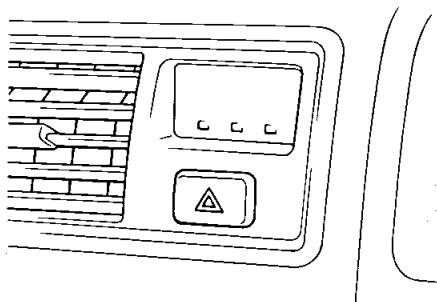
アドバイス

点滅が異常に速くなったときは、方向指示灯の電球切れが考えられます。方向指示灯が点滅するか確認してください。

非常点滅灯スイッチ

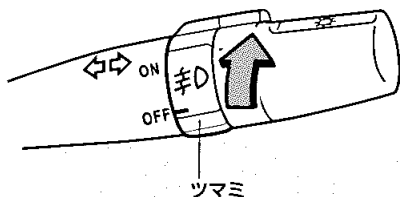
故障などでやむを得ず、路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。

- スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅します。メーター内にある方向指示表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。



フロントフォグランプスイッチ

ライトスイッチがON①、ON②の位置のとき、およびAUTOの位置で車幅灯が点灯しているとき使用できます。ツマミをONの位置にまわすと点灯し、OFFの位置にまわすと消灯します。

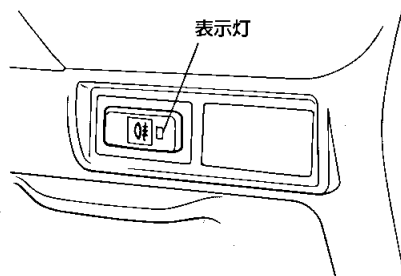


リヤフォグランプスイッチ★

フロントフォグランプまたはヘッドランプが点灯しているときに使用できません。

スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

●リヤフォグランプが点灯しているときは、スイッチの表示灯が点灯します。



知識

- リヤフォグランプが点灯しているときにヘッドランプまたはフロントフォグランプを消灯しても、車幅灯が点灯していればリヤフォグランプは消灯しません。
- リヤフォグランプが点灯しているときにライトスイッチをOFFにして車幅灯を消灯すると、リヤフォグランプも消灯します。
- コンライト付き車は、ライトスイッチのツマミがAUTOの位置でリヤフォグランプを点灯させた場合、エンジンを止め、運転席ドアを開くと、リヤフォグランプも消灯します。
- リヤフォグランプが消灯した後に、再度点灯させるためには、リヤフォグランプスイッチの操作が必要です。
- 視界が悪いとき以外に使用すると後続車の迷惑になる場合があります。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

無断複製禁止

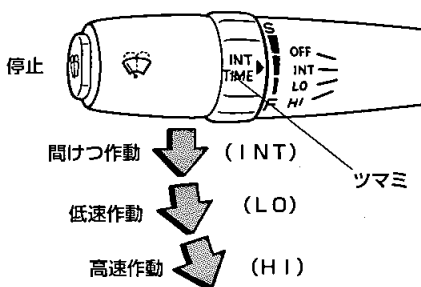
ワイパー&ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

フロント

■ワイパーの使い方

レバーを操作すると、下のように作動します。



間けつ作動のときツマミをまわすと、間けつ時間を約3~12秒で調整できます。

■車速感应式ワイパー★

レバーがINT位置のとき、車速に応じてワイパーが作動します。

- 車速が速くなると間けつ時間が短くなります。

■ウォッシャー液の噴射方法

レバー先端についているスイッチを押します。

ワイパーが2~3回作動します。

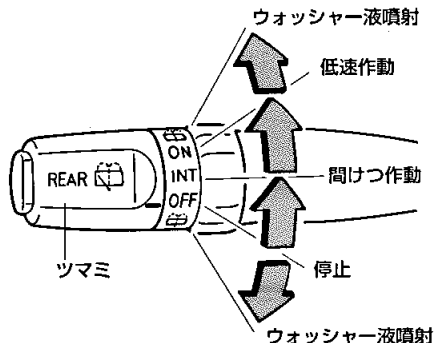
⚠ 注意

寒冷時は、ウィンドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントガラスに凍りつき視界不良をおこすおそれがあります。

リヤ★

■ワイパーの使い方

ツマミを図のようにまわすと作動します。



■ウォッシャー液の噴射方法

- 低速作動中にウォッシャー液を噴射させるときはONの位置から上の☐側にまわします。
- ツマミをOFFの位置から下の☐側にまわすとウォッシャー液が噴射されます。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。



アドバイス

- ウインドウガラスが凍結しているときや長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに張りついていないことを確認してください。ガラスに張りついたまま作動させるとワイパーゴムを損傷するおそれがあります。
- 必ずウォッシャー液を噴射してからワイパーを作動させてください。ガラスが乾いているときにワイパーを作動させるとガラスを傷つけるおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき、ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
- 積雪などにより、ワイパーが途中で止まったときは、車を安全な場所に止めてワイパースイッチをOFF、エンジンスイッチをACCまたはLOCKの位置にし、ワイパーが作動できるように積雪などの障害物を取り除いてください。



知識

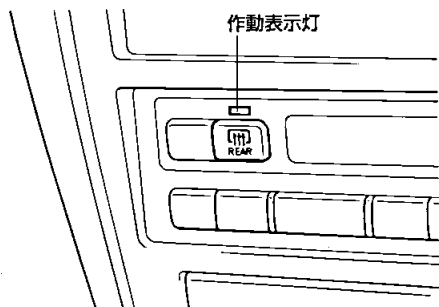
ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。モーターの負担が大きい状況が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。10分ほどすると、ブレーカーが復帰して、通常どおり使用できるようになります。

リヤウィンドウデフォグー (曇り取り)スイッチ

リヤウィンドウガラスを熱線で暖めて曇りを取ります。

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

- スイッチを押すと約15分間作動します。もう一度押すと、停止します。
- 作動中は作動表示灯が点灯します。



知識

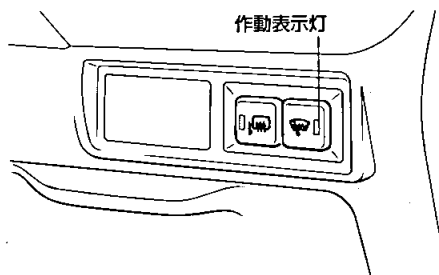
連続して長時間使用すると、バッテリーあがりの原因となります。

熱線入りフロントウィンドウ シールドガラススイッチ★

フロントウィンドウガラス下部の表面を暖めてガラスとワイパーブレードの凍結を防止します。

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

- スイッチを押すと約15分間作動します。もう一度押すと、停止します。
- 作動中は作動表示灯が点灯します。



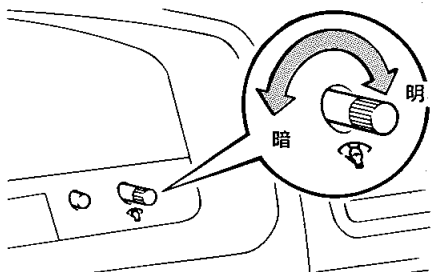
知識

連続して長時間使用すると、バッテリーあがりの原因となります。

メーター照度調整スイッチ

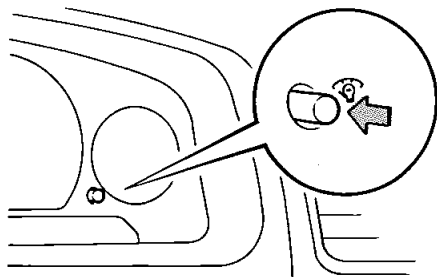
エンジンスイッチがONのとき使用できます。

スペースビジョンメーター



- ダイヤルを右にまわすとメーター照明が明るくなり、左にまわすと暗くなります。
- ライトスイッチをONにすると減光されます。

オブティロンメーター



スイッチを押すと、ライトスイッチをONにしたとき、メーター照明が減光されます。もう一度押すと、ライトスイッチをONにしても減光されません。

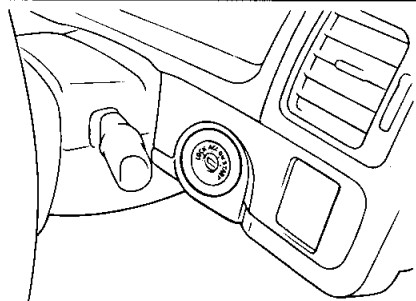


知識

“カチッ”と音がするまで右いっぱいにまわすとライトスイッチをONにしたとき減光されません。

運転装置

エンジンスイッチ



各位置の働き

LOCK
(ロック)

キーを抜き差しできる位置
キーを抜くとハンドルが
ロックされます。

ACC
(アクセサリ)

エンジン停止時、次のもの
が使用できる位置
オーディオ、シガレットライ
ター、電動リモコンミラー

ON
(オン)

エンジン回転中の位置
ディーゼル車は始動時に予熱
表示灯が点灯します。
(次ページ参照)

START
(スタート)

エンジンを始動する位置

■LOCKからACCにまわすとき
キーがまわりにくいときは、ハンドルを
軽く左右にまわしながらキーをまわしま
す。

■ACCからLOCKにまわすとき
マニュアル車はキーを押しながらまわし
ます。
オートマチック車はチェンジレバーをP
の位置にしてキーをまわします。



知識

エンジン停止時はエンジンスイッチをON
またはACCのまま長時間放置すると、
バッテリーあがりの原因となります。

エンジンのかけ方

エンジンをかけるまえに

- 1 パーキングブレーキをかけていることを確認します。
- 2 チェンジレバーがマニュアル車は**N**、オートマチック車は**P**の位置にあることを確認します。
(オートマチック車は**N**でも始動できますが、安全のため**P**で行ってください。)

エンジンのかけ方

⚠ 注意

窓越しなど車外からのエンジン始動は絶対に行わないでください。
思わぬ事故につながるおそれがありますので必ず運転席にすわって行ってください。

ガソリン車

- 1 運転席にすわり、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- 2 アクセルペダルは踏まずにエンジンスイッチをスタート位置にまわしエンジンを始動します。
マニュアル車はクラッチペダルをいっばいに踏み込んで行います。

ディーゼル車

- 1 運転席にすわり、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- 2 エンジンスイッチをONにします。
予熱表示灯が点灯します。(101ページ参照)
- 3 予熱表示灯が消灯したら、アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチをスタート位置にまわし、エンジンを始動します。
マニュアル車はクラッチペダルをいっばいに踏み込んで行います。



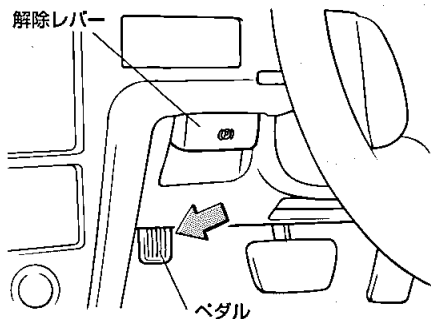
アドバイス

ディーゼル車で極寒時は、アクセルペダルをいっばいに踏み込んだまま30秒を限度にエンジンがかかるまでエンジンスイッチをまわし続けてください。30秒間始動してもかからないときは、エンジンスイッチをACCにもどし、20秒以上待ってから再始動してください。

パーキングブレーキ

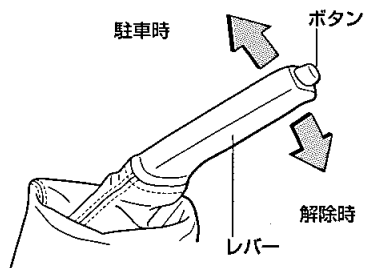
足踏み式

駐車するときは右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。解除するときは解除レバーを引きます。



センターレバー式


駐車するときはボタンを押さずにレバーをいっぱいまで引きます。解除するときはレバーを少し引き上げながら先端のボタンを押さえて、完全に下までもどします。



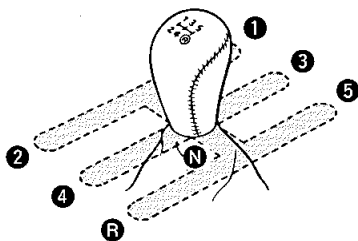
⚠ 注意

パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。
ブレーキ部品が早く摩耗したりブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

ホーン

ハンドルの  マーク周辺部を押すとホーン（警音器）が鳴ります。

マニュアルトランスミッション



■ 駐車するときは

パーキングブレーキをかけ、チェンジレバーを平地や下り坂では**⑤**、上り坂では**①**の位置にします。

■ ⑥にいれるときは

誤操作を防ぐため**⑤**→**⑥**へは直接入れることができません。

いったん**N**にしてから**⑥**へいれます。



アドバイス

車両が動いているときは**⑥**にいれないでください。車が完全に止まってから操作しないとトランスミッションを損傷するおそれがあります。

■ 各シフト位置での速度限界

エンジンを過回転させないために、各シフト位置での速度が下表の数値をこえないようにしてください。

(単位：km/h)

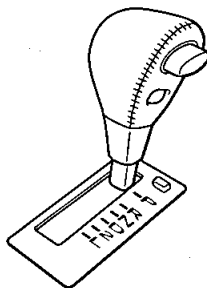
エンジン型式	1G-FE	1JZ-GTE
シフト位置		
1速	45	55
2速	80	90
3速	120	140
4速	165	180
5速	180	180

オートマチックトランスミッション

オートマチックトランスミッションはチェンジレバーの形状別に説明してあります。
該当するページをお読みください。

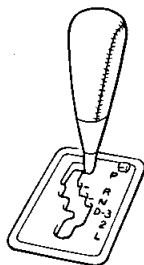
ストレート式チェンジレバー

<4速AT車>123ページ

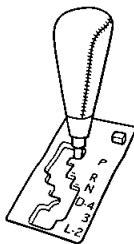


ゲート式チェンジレバー

<4速AT車>126ページ



<5速AT車>128ページ



ストレート式チェンジレバー (4速AT車)

各位置の働き

P
(パーキング)
 駐車およびエンジン始動
 車輪が固定されます。駐車
 のときは必ず**②**にしてくだ
 さい。
 (②でのみエンジンスイッチ
 からキーが抜けます。)

R
(リバース)
 後退
 ギヤが後退に固定されます。
 ブザーが鳴り**③**にあること
 を運転者に知らせます。

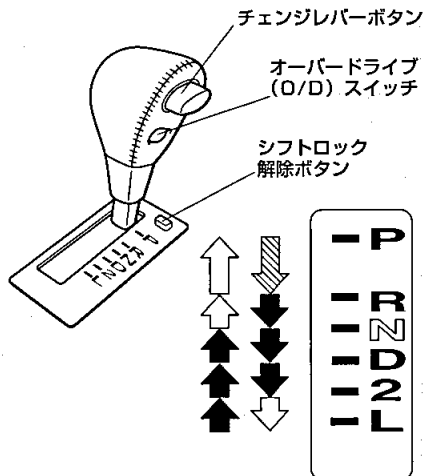
N
(ニュートラル)
 動力が伝わらない状態
④でもエンジンは始動でき
 ますが、安全のため**⑤**で行
 ってください。

D
(ドライブ)
 通常走行
 スピードに応じてギヤが自
 動的にかわります。
 ●O/DスイッチがONのとき
 は、1速から4速まで
 ●O/DスイッチがOFFの
 ときは、1速から3速まで

2
(セカンド)
 下り坂走行
 エンジンブレーキが必要な
 場合に使います。

L
(ロー)
 急な下り坂
 強力なエンジンブレーキが
 必要な場合に使います。

チェンジレバーの動かし方



↑ ↓	チェンジレバーボタンを押さず にそのまま操作します。
↑ ↓	チェンジレバーボタンを押して 操作します。
↓	ブレーキペダルを踏んだまま、 チェンジレバーボタンを押して 操作します。

⚠ 警告

➡の操作はチェンジレバーボタンを押さず
に操作してください。いつもレバーボタン
を押して操作していると意に反してチェ
ンジレバーを**②**、**③**または**④**にいれてしまい、
思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受
けるおそれがあり危険です。

 知識

■シフトロックシステム

オートマチック車でのチェンジレバーの誤操作を防ぐシステムです。

●ブレーキペダルを踏んだ状態でなければチェンジレバーを**P**からレバー操作できません。

●エンジンスイッチが、ACCまたはLOCKのときは、ブレーキペダルを踏んでも操作できません。

●チェンジレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏み操作してください。

●チェンジレバーが**P**以外ではエンジンスイッチからキーは抜けません。

●エンジンスイッチからキーを抜くときは、チェンジレバーを**P**にいれてください。

(**P**以外ではキーをACCからLOCKにまわせません。)

●チェンジレバーを**R**にいれるとブザーが鳴ります。

●ブザーが鳴り、**R**にあることを運転者に知らせます。

●車外の人には音は聞こえませんのでご注意ください。

(車外の人に対する警告音ではありません。)

 アドバイス

万一、チェンジレバーが**P**からレバー操作できないときは

●エンジンスイッチをACCにしてシフトロック解除ボタンを押しながらレバーを操作してください。

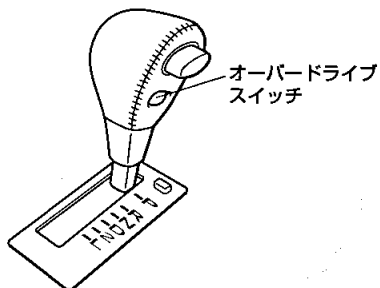
●シフトロックシステム等の故障が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

オーバードライブ (O/D) スイッチ

スイッチをONにしておくとチェンジレバーが①の位置で走行中、4速ギヤ（オーバードライブギヤ）にはいり、燃費性能と静粛性を高めます。

スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。

OFFにするとオーバードライブOFF表示灯が点灯します。



オーバードライブ OFF表示灯

O/D
OFF

オーバードライブスイッチをOFFにすると点灯します。



アドバイス

走行中（オーバードライブスイッチがONのとき）、表示灯が点滅したときは、オートマチックトランスミッションのシステム異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

■スイッチがONのとき

通常走行に適します。

チェンジレバーを①の位置で走行中、4速ギヤにはいり、燃費性能と静粛性を高めます。

■スイッチがOFFのとき

坂道走行に適します。

- 下り坂では軽いエンジンブレーキが得られます。
- 上り坂では変速回数の少ないなめらかな走行ができます。

ゲート式チェンジレバー (4速AT車)

各位置の働き



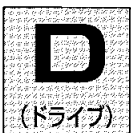
駐車およびエンジン始動
車輪が固定されます。駐車
のときは必ずPにしてください。
(Pでのみエンジンスイッチか
らキーが抜けます。)



後退
ギヤが後退に固定されます。
ブザーが鳴りRにあることを
運転者に知らせます。



動力が伝わらない状態
Nでもエンジンは始動できま
すが、安全のためPで行って
ください。



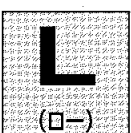
通常走行
スピードに応じてギヤが1速か
ら4速まで自動的にかわりま
す。



坂道走行
下り坂では軽いエンジンブレー
キが得られます。
上り坂では変速回数の少ないな
めらかな走行ができます。

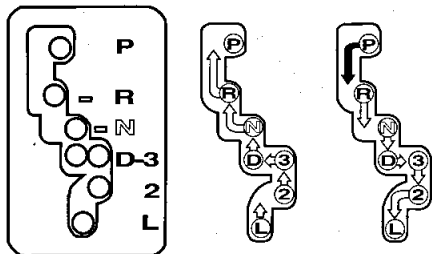
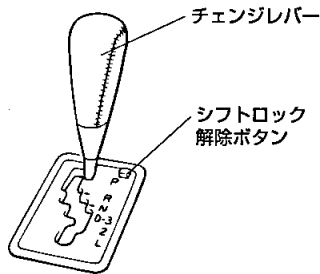


下り坂走行
エンジンブレーキが必要な場
合に使います。



急な下り坂
強力なエンジンブレーキが必
要な場合に使います。

チェンジレバーの動かし方



↓	ブレーキペダルを踏んだま ま、チェンジレバーをゲー トにそって操作します。
↑ ↓	チェンジレバーをゲー トにそってそのまま操作 します。

 知識

■シフトロックシステム

オートマチック車でのチェンジレバーの誤操作を防ぐシステムです。

●ブレーキペダルを踏んだ状態でなければチェンジレバーを**P**からレバー操作できません。

●エンジンスイッチが、ACCまたはLOCKのときは、ブレーキペダルを踏んでも操作できません。

●チェンジレバーを助手席側に倒したままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏み操作してください。

●チェンジレバーが**P**以外ではエンジンスイッチからキーは抜けません。

●エンジンスイッチからキーを抜くときは、チェンジレバーを**P**にしてください。


(**P**以外ではキーをACCからLOCKにまわせません。)

●チェンジレバーを**P**にいとブザーが鳴ります。

●ブザーが鳴り、**P**にあることを運転者に知らせます。

●車外の人には音は聞こえませんがご注意ください。

(車外の人に対する警告音ではありません。)

 アドバイス

万一、チェンジレバーが**P**からレバー操作できないときは

●エンジンスイッチをACCにしてシフトロック解除ボタンを押しながらレバーを操作してください。

●シフトロックシステム等の故障が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

ゲート式チェンジレバー (5速AT車)

各位置の働き

P
(パーキング) 駐車およびエンジン始動
車輪が固定されます。駐車するときには必ず**P**にしてください。
(**P**でのみエンジンスイッチからキーが抜けます。)

R
(リバース) 後退
ギヤが後退に固定されます。ブザーが鳴り**R**にあることを運転者に知らせます。

N
(ニュートラル) 動力が伝わらない状態
Nでもエンジンは始動できますが、安全のため**P**で行ってください。

D
(ドライブ) 通常走行
スピードに応じてギヤが1速から5速まで自動的にかかります。

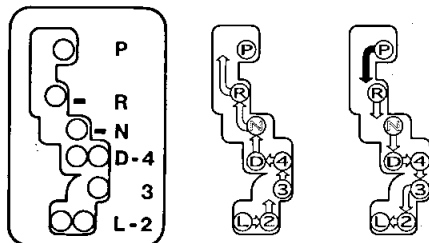
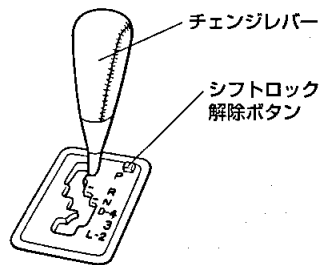
4
(フォース) 通常走行
スピードに応じてギヤが1速から4速まで自動的にかかります。

3
(サード) 坂道走行
下り坂では軽いエンジンブレーキが得られます。
上り坂では変速回数の少ないためらかな走行ができます。

2
(セカンド) 下り坂走行
エンジンブレーキが必要な場合に使います。

L
(ロー) 急な下り坂
強力なエンジンブレーキが必要な場合に使います。

チェンジレバーの動かし方



↓	ブレーキペダルを踏んだまま、チェンジレバーをゲートにそって操作します。
↑↓	チェンジレバーをゲートにそってそのまま操作します。

 知識

■シフトロックシステム

オートマチック車でのチェンジレバーの誤操作を防ぐシステムです。

- ブレーキペダルを踏んだ状態でなければチェンジレバーをPからレバー操作できません。
- エンジンスイッチが、ACCまたはLOCKのときは、ブレーキペダルを踏んでも操作できません。
- チェンジレバーを助手席側に倒したままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏み操作してください。
- チェンジレバーがP以外ではエンジンスイッチからキーは抜けません。
 - エンジンスイッチからキーを抜くときは、チェンジレバーをPにいれてください。
 (P以外ではキーをACCからLOCKにまわせません。)
- チェンジレバーをRにいれるとブザーが鳴ります。
 - ブザーが鳴り、Rにあることを運転者に知らせます。
 - 車外の人には音は聞こえませんがご注意ください。(車外の人に対する警告音ではありません。)



アドバイス

万一、チェンジレバーがPからレバー操作できないときは

- エンジンスイッチをACCにしてシフトロック解除ボタンを押しながらレバーを操作してください。
- シフトロックシステム等の故障が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

ECT-iE※1、ECT-E※2

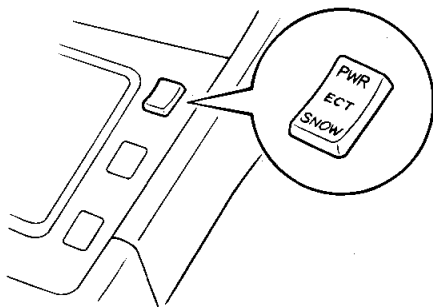
4速AT車（ガソリン車）

ECT-iE、ECT-EはフレックスロックアップシステムやA-I-SHIFTなどにより、燃費性能と快適な走行を両立した電子制御オートマチックトランスミッションです。

ECTパターンセレクトスイッチ

走行・使用条件にあわせて走行パターンを選択できます。

4WD車、2500ターボ車を除く



■ノーマルモード

スイッチをどちら側にも押さない状態（中立状態）にするとノーマルモードに切り替わります。

表示灯は点灯しません。

- 通常走行に適し、市街地での走行から高速走行まで幅広く走行できます。

■パワーモード

スイッチのPWR側を押すとパワーモードに切り替わります。

メーター内のECT PWR表示灯が点灯します。

- パワフルな運転や山間地での運転などに適しています。
- ノーマルモードにもどすときはスイッチのSNOW側を軽く押して、どちら側にも押されていない状態（中立状態）にします。

■スノーモード

スイッチのSNOW側を押すとスノーモードに切り替わります。

メーター内のECT SNOW表示灯が点灯します。

- 2速発進となり（3000車を除く）、雪道など、すべりやすい路面での発進に適しています。
- ノーマルモードにもどすときはもう一度SNOW側を押します。

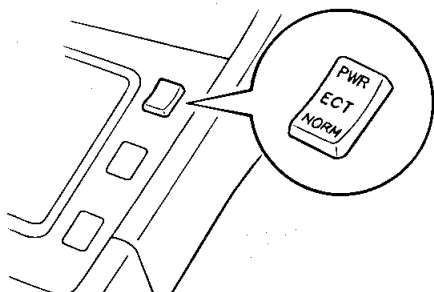
◆知識

スノーモードを選択して走行したあと、エンジンスイッチをACCまたはLOCKにすると、自動的にノーマルモードに切り替わります。

※1 電子制御フレックスロックアップ付4速AT（インテリジェント）

※2 電子制御フレックスロックアップ付4速AT

4WD車、2500ターボ車



■ノーマルモード

スイッチをNORM側になるとノーマルモードに切り替わります。

表示灯は点灯しません。

通常走行に適し、市街地での走行から高速走行まで幅広く走行できます。

■パワーモード

スイッチをPWR側になるとパワーモードに切り替わります。

パワーモードのとき、メーター内のECT PWR表示灯が点灯します。

●パワーモードは次のような場合に使用します。

＜パワフルな運転や、山間地で運転するとき＞

低速ギヤを使用する頻度が増え、パワフルな走行ができます。

＜雪道など、すべりやすい路面で発進するとき＞

チェンジレバーを②にすると、ギヤが2速に固定され、なめらかな発進ができます。

2500ターボ車は139ページの「ETCS」の項目もあわせてご覧ください。

ECT PWR表示灯

ECT
PWR

ECTパターンセレクトスイッチを押してPWR（パワーモード）を選択したときに点灯します。



アドバイス

ゲート式チェンジレバー装着車

走行中、表示灯が点滅したときは、オートマチックトランスミッションのシステム異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

ECT SNOW表示灯

ECT
SNOW

4WD車、2500ターボ車を除く

ECTパターンセレクトスイッチを押してSNOW（スノーモード）を選択したときに点灯します。



アドバイス

ゲート式チェンジレバー装着車

走行中、表示灯が点滅したときは、オートマチックトランスミッションのシステム異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

AI* - SHIFT (変速点新制御システム)

VSC付き車

AI - SHIFTは、ECTパターンセレクトスイッチによるシフトパターンの切り替えとは別に、運転者の意思と道路状況を推定し、最適なシフトパターンへ自動的に切り替えることにより、快適な走りを実現したシステムです。

■変速点自動切替制御システム

チェンジレバーが①の位置のとき自動的に作動します。

- 現在のドライバーの操作状態から、各ドライバーの運転に適応したシフトパターンに切り替えます。

■登降坂変速制御システム

チェンジレバーが②の位置のときのみ作動します。

- 登坂路では変速回数を減らし、滑らかに走行することができます。
 - 4速で走行しているときに、登坂していると判断されたときは、3速にシフトダウンしたあと4速へのひんぱんなシフトアップを防止します。
- 降坂路ではシフトダウン、またはフレックスロックアップシステムにより、エンジンブレーキを積極的に利用し、フットブレーキの負担を軽減します。
 - 4速で走行しているときに、降坂していると判断されたときは、ブレーキペダルを踏むと3速にシフトダウンします。

■スノーモード制御システム (2500ターボ車)

チェンジレバーが③の位置のとき自動的に作動します。

- 滑りやすい路面を走行すると自動的にスノーモード用シフトパターンに切り替えます。

フレックスロックアップシステム

トランスミッションの伝達効率を上げ、燃費性能を高めるシステムです。

- ストリート式チェンジレバー装着車はチェンジレバーが④（O/DスイッチのON・OFFに関係なく）の位置のとき、自動的に作動します。
- ゲート式チェンジレバー装着車はチェンジレバーが⑤、⑥の位置のときに、自動的に作動します。

登降坂変速制御システム

登坂路では変速回数を減らし、滑らかに走行することができます。また降坂路ではシフトダウン、またはフレックスロックアップシステムによりエンジンブレーキを積極的に利用し、フットブレーキの負担を軽減します。

- 4速で走行しているときに、登坂していると判断されたときは、3速にシフトダウンしたあと4速へのひんぱんなシフトアップを防止しています。

* AI は「Artificial Intelligence」の略で、人工知能の意味

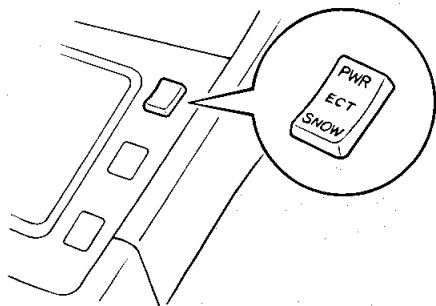
5 Super ECT※

5速AT車

5 Super ECTはフレックスロックアップシステムやA I - S H I F Tなどにより、燃費性能と快適な走行を両立した電子制御オートマチックトランスミッションです。

ECTパターンセレクトスイッチ

走行・使用条件にあわせて走行パターンを選択できます。



■ノーマルモード

スイッチをどちら側にも押さない状態（中立状態）にするとノーマルモードに切り替わります。

表示灯は点灯しません。

- 通常走行に適し、市街地での走行から高速走行まで幅広く走行できます。

■パワーモード

スイッチのPWR側を押すとパワーモードに切り替わります。

メーター内のECT PWR表示灯が点灯します。

- パワフルな運転や山間地での運転などに適しています。
- ノーマルモードにもどすときはスイッチのSNOW側を軽く押して、どちら側にも押されていない状態（中立状態）にします。

■スノーモード

スイッチのSNOW側を押すとスノーモードに切り替わります。

メーター内のECT SNOW表示灯が点灯します。

- 雪道など、すべりやすい路面での発進に適しています。
- ノーマルモードにもどすときはもう一度SNOW側を押します。

知識

スノーモードを選択して走行したあと、エンジンスイッチをACCまたはLOCKにすると、自動的にノーマルモードに切り替わります。

※ スーパーインテリジェント5速AT

ECT PWR表示灯**ECT
PWR**

ECTパターンセレクトスイッチを押してPWR（パワーモード）を選択したときに点灯します。

**アドバイス**

走行中、表示灯が点滅したときは、オートマチックトランスミッションのシステム異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

ECT SNOW表示灯**ECT
SNOW**

ECTパターンセレクトスイッチを押してSNOW（スノーモード）を選択したときに点灯します。

**アドバイス**

走行中、表示灯が点滅したときは、オートマチックトランスミッションのシステム異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

フレックスロックアップシステム

トランスミッションの伝達効率を上げ、燃費性能を高めるシステムです。

- チェンジレバーが①、④の位置のときに、自動的に作動します。

**A I * - S H I F T
(変速点新制御システム)**

A I * - S H I F Tは、ECTパターンセレクトスイッチによるシフトパターンの切り替えとは別に、運転者の意思と道路状況を推定し、最適なシフトパターンへ自動的に切り替えることにより、快適な走りを実現したシステムです。

■変速点自動切替制御システム

チェンジレバーが①の位置のとき自動的に作動します。

- 現在のドライバーの操作状態から、各ドライバーの運転に適応したシフトパターンに切り替えます。

■登降坂変速制御システム

チェンジレバーが①の位置のときのみ作動します。

- 登坂路では変速回数を減らし、滑らかに走行することができます。
 - 5速で走行しているときに、登坂していると判断されたときは、4速にシフトダウンしたあとの5速へのシフトアップを防止します。
- 降坂路ではシフトダウン、またはフレックスロックアップシステムにより、エンジンブレーキを積極的に利用し、フットブレーキの負担を軽減します。
 - 5速で走行しているときに、降坂していると判断されたときは、ブレーキペダルを踏むと4速にシフトダウンします。

オートマチック車の運転のしかた

オートマチック車の特性

■クリーブ現象

エンジンがかかっているとき、チェンジレバーがP・N以外の位置にあると、動力がつながった状態になりアクセルペダルを踏まなくてもゆっくりと動き出す現象をクリーブ現象といいます。



知識

停車中は、平坦路であっても車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

- エンジン始動直後やエアコン作動時など、自動的にエンジンの回転が上がリ（アイドルアップ）、クリーブ現象が強くなる場合がありますので、ブレーキペダルはしっかりと踏んでください。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリーブ現象を利用し、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節するとスムーズに行えます。

■キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり、エンジンの回転数が上昇して急加速させることができます。これをキックダウンといいます。



知識

追いつし時の急加速や高速道路での合流が楽に行えます。

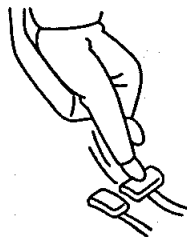
- すべりやすい路面やカーブ走行中では、急激なアクセルペダルの操作は避けてください。

エンジンをかけるまえに

- 1 正しい運転姿勢をとります。
ペダルが確実に踏め、ハンドル操作が楽にできるように、シートの位置を調整してください。（34ページ参照）
- 2 アクセルペダルの位置を確認します。
- 3 ブレーキペダルの位置を右足で確認します。
踏み間違いを防ぐため、アクセルペダルとブレーキペダルを右足で踏み、その位置を確認し、足におぼえさせておくことが重要です。

エンジン始動

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- 2 チェンジレバーがPの位置にあることを確認します。
Nの位置でも始動できますが、安全のため車輪が固定されるPの位置で行ってください。
- 3 ブレーキペダルを右足で踏みます。



- 4 エンジンを始動します。

発進

1 ブレーキペダルを右足でしっかり踏みチェンジレバーを操作します。

ブレーキペダルをしっかりと踏んでいないとクリーブ現象により、車が動くことがあります。

とくにエンジン始動直後やエアコン作動時などはクリーブ現象が強くなるため、よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

警告

チェンジレバー操作は、絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、思わぬ事故につながり重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

2 パーキングブレーキを解除します。

3 ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。

マニュアル車では、発進時のスピード調節を半クラッチ操作と併用して行いますが、オートマチック車では、アクセル操作のみで行いますのでアクセル操作は慎重に行ってください。

■急な上り坂の発進

1 チェンジレバーの位置を目で確認します。

2 アクセルペダルをゆっくり踏みます。

3 車が動き出す感触を確認してから、パーキングブレーキを解除し発進します。

走行

■通常走行

チェンジレバーを①のまま走行します。アクセルとブレーキの操作だけで、加速・減速します。

■急加速

アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンし、急加速します。

■上り坂走行

5速AT車

上り坂でスピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、意に反してキックダウンし、急にエンジン回転が上がる場合があります。このようなときは、あらかじめチェンジレバーを④または③にしておくと、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。

4速AT車

上り坂でスピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、意に反してキックダウンし、急にエンジン回転が上がる場合があります。このようなときは、あらかじめチェンジレバーを②にしておくと、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。

■下り坂走行

5速AT車

チェンジレバーが①のままですピードが出すぎるときは、坂道に応じて③、②または①にいれエンジンブレーキを併用します。

チェンジレバーを④にすることによっても軽いエンジンブレーキが得られます。フットブレーキを使いすぎると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

4速AT車

チェンジレバーが①のままですピードが出すぎるときは、坂道に応じて②または①にいれエンジンブレーキを併用します。

●ストリート式チェンジレバー装着車は、オーバードライブスイッチをOFFにすることによっても軽いエンジンブレーキが得られます。

●ゲート式チェンジレバー装着車はチェンジレバーを③にすることによっても軽いエンジンブレーキが得られます。

フットブレーキを使いすぎると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

📖 知識

クルーズコントロール付き車は、クルーズコントロールを使用して定速走行しているときは、O/DスイッチをOFFにしてもクルーズコントロールが解除されないため、エンジンブレーキは効きません。

減速が必要なときは、クルーズコントロールスイッチで設定速度をかえる（144ページ参照）かブレーキペダルを踏みます。

⚠️ 注意

走行中はチェンジレバーを④にしないでください。④にすると、エンジンブレーキがまったく効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

チェンジレバーを④にしたままで走行するとトランスミッションの故障の原因となるおそれがあります。

■各シフト位置での速度限界

エンジンを過回転させないために、各シフト位置での速度が下表の数値をこえないようにしてください。

4速AT車

(単位：km/h)

シフト位置 エンジン 型式		2	L
		FR	100
1G- FE	4WD	100	50
	FR	100	60
1JZ- GE	4WD	100	50
	1JZ-GTE	105	60
2JZ-GE		100	50
2L-TE		70	40

5速AT車

(単位：km/h)

シフト位置	速度限界
L	45
2	70
3	110
4	160

停車

- 1 チェンジレバーを**D**のままブレーキペダルをしっかりと踏みます。
エアコンは温度変化により断続的に作動します。作動中は自動的にアイドルアップし、クリーブ現象が強くなりますので、車が動き出さないようにとくに注意してください。
- 2 必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
急な上り坂の停車はクリーブ現象で前へ進もうとする力よりも、車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。
ブレーキペダルを踏み、しっかりとパーキングブレーキをかけてください。
- 3 停車時間が長くなりそうなときは、チェンジレバーを**P**または**N**にいます。

警告

停車中の空ぶかしはしないでください。
P**N**以外にはっていると車が急発進し、思わぬ事故につながり重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

停車後再発進するときはチェンジレバーが**D**の位置にあることをしっかり確認してから、発進してください。



アドバイス

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でチェンジレバーを**D**のままアクセルをふかしながら止まらないでください。トランスミッションが過熱し、故障の原因になります。

駐車

- 1 車を完全に止めます。
- 2 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキを確実にかけます。
- 3 チェンジレバーを**P**にいます。
Pでは車輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には、必ずチェンジレバーが**P**の位置にあることを確認してください。
- 4 エンジンを止めます。
車を離れるときは必ずエンジンを停止してください。

注意

エンジンをかけたままにしておくと、万一、チェンジレバーが**P**以外にはいていた場合、クリーブ現象で車がひとりでに動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだとき、急発進するおそれがあります。



アドバイス

車輪が完全に止まらないうちに、チェンジレバーを**P**にいれるのはやめてください。無理な力がかかり、トランスミッションをいためることがあります。

ETCS* (電子制御スロットル)

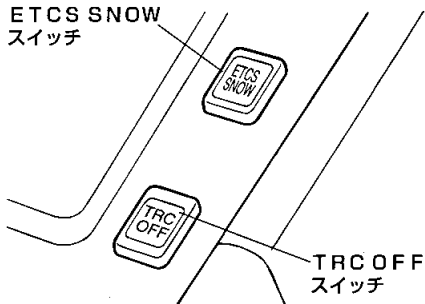
2500ターボ車

電子制御スロットルは、アクセル開度に対するエンジン出力特性を運転条件により常に適切にコントロールします。

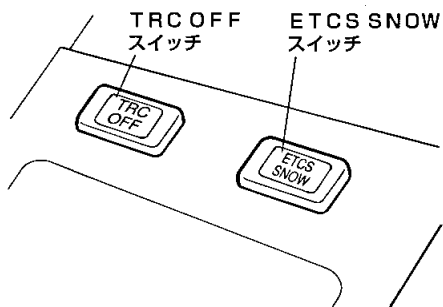
とくにすべりやすい路面などでは、トラクションコントロールシステムの働きとあわせて、後輪の空転をエンジンの出力の低減により抑制し、車両の安定性と後輪の駆動力を確保します。

■オートマチック車

ETCS SNOW
スイッチ



■マニュアル車



TRC OFFスイッチ

■通常走行モード

システム作動可能状態です。通常走行では、できるだけこのモードで使用してください。

- 表示灯は点灯しません。
- エンジン始動時にはこのモードになっています。
- 走行中にトラクションコントロールシステムが作動すると、スリップ表示灯が点滅し、後輪の空転を制御していることを示します。

■TRC OFFモード

システム作動停止状態です。ぬかるみ、新雪などからの脱出するときに、トラクションコントロールの作動により、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出困難なときに使用してください。

- 通常走行モードのときTRC OFFスイッチを押すと、TRC OFFモードになり、TRC OFF表示灯が点灯します。
- 通常走行モードにもどすときは、TRC OFFスイッチをもう一度押します。(表示灯が消灯します。)

⚠ 注意

電子制御スロットルのトラクションコントロール機能を過信しないでください。トラクションコントロール機能が作動した状態でも車両の方向安定性の確保には限界があり、思わぬ事故につながるおそれがあります。常に安全運転に心がけ、スリップ表示灯が点滅したときはとくに慎重に運転してください。

*ETCSはElectronic Throttle Control Systemの略。

 知識

- 通常走行時にシステムがすべりやすい路面を走行していると判断した場合は、一時的に自動でスノーモードに切り替わる場合があります。(SNOW表示灯が点灯します。)この場合、引き続き走行しすべりにくい路面を走行していると判断すると、自動で通常走行モードに復帰します。
(早く通常走行モードにもどしたいときは、SNOW表示灯点灯時にTRC OFFスイッチまたはETCS SNOWスイッチを2回押します。)
- トラクションコントロールが正常に作動しているときは、車両の振動を感じることがありますが、これはブレーキ制御によるもので異常ではありません。
- エンジン始動時や、始動後の発進直後にエンジンルームから“カチカチ、トン”などの音がしますが、これはトラクションコントロールの作動をチェックしている音で異常ではありません。

ETCS SNOWスイッチ

■通常走行モード

通常走行では、できるだけこのモードで使用してください。

- 表示灯は点灯しません。
- エンジン始動時にはこのモードになっています。

■スノーモード

雪道などすべりやすい路面に対してエンジン出力を低減し、後輪の空転を起さにくくします。

すべりやすい路面が連続する場合に使用してください。

- ETCS SNOWスイッチを押すと、スノーモードになり、ETCS SNOW表示灯が点灯します。
- 通常走行モードにもどすときは、もう一度スイッチを押します。

 知識

- 雪道などすべりやすい路面状況以外では、スノーモードよりも通常走行モードのほうがなめらかな運転ができます。
- スノーモードを選択しているとき、エンジンスイッチをOFFにすると数秒後に通常走行モードに自動的に切り替わりません。

ETCS SNOW表示灯

ETCS SNOW

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

ETCS SNOWスイッチを押して、SNOWモードを選択したときに点灯します。



アドバイス

警告灯が点滅したときはシステムの異常が考えられます。走行上支障はありませんがトヨタ販売店で点検を受けてください。なお、スノーモードを選択しているときに警告灯が点滅すると、通常走行モードに自動的に切り替わります。

スリップ表示灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

走行中にトラクションコントロールシステムが作動すると、表示灯が点滅し、後輪の空転を制御していることを示します。

⚠ 注意

走行中に表示灯が点滅したときは、とくに慎重に運転してください。

慎重に運転しないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

表示灯が次のようになったときは、システムの異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき。

TRC OFF表示灯

TRC OFF

エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

TRC OFFスイッチを押して、OFFモード（トラクションコントロールシステム作動停止状態）にすると点灯します。

VSC付き車は、走行中にVSCシステムに異常があるとVSC警告灯が点灯するとともに、TRC OFF表示灯が点灯します。



アドバイス

表示灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられます。走行上支障はありませんがトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき
- 表示灯が点滅したままのとき
- トラクションコントロールが通常走行モード（作動可能状態）のときに、表示灯が点灯したままのとき、または走行中に点灯したとき

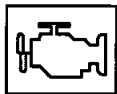
ETCS-i* (電子制御スロットル)

VSC付き車、5速AT車

電子制御スロットルは、各運転条件においてアクセル開度に対するエンジン出力を最適にコントロールし、車両の優れた操作性を確保する装置です。

EFI、ECT、ETCS-iの統合制御およびVSCとの協調制御により、様々な運転領域にわたって、良好なアクセルコントロール性および優れた車両安定性を実現しています。

エンジン警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。エンジン回転中、エンジン電子制御システムまたは電子制御スロットルに異常があると点灯します。



アドバイス

- エンジン回転中に点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
 - 警告灯が点灯し、アクセルペダルをおよそ中間位置まで踏んでもエンジン回転数が上昇しないときは電子制御系の異常が考えられます。このときは、アクセルペダルをさらに踏み込むと低速で走行ができます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- なお、この低速走行中に万一電子制御系の異常が解消した場合でも、エンジンを止めてエンジンスイッチをACCまたはLOCKにするまでは正常状態に復帰することはありません。

*ETCS-iはElectronic Throttle Control System-intelligentの略。

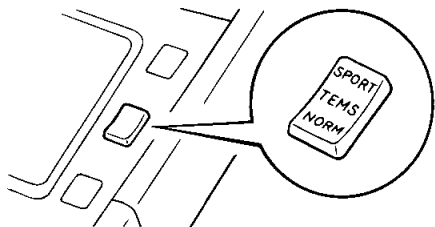
★印はグレード等により装着の有無が異なります。

スカイフックTEMS★

ショックアブソーバーの減衰力をきめ細かくコントロールすることにより、路面の凹凸やドライバーの操作による車両挙動の変化を抑制し、乗り心地や走行安定性を向上させる装置です。

サスペンションの硬さの切り替え方

TEMS選択スイッチでサスペンションの硬さをノーマルモード(NORM)、スポーツモード(SPORT)より選択できます。



■ノーマルモード(NORM)

スイッチをNORM側にするとノーマルモードに切り替わります。通常走行に適しています。乗り心地を重視して減衰力が自動的に切り替わります。

■スポーツモード(SPORT)

スイッチをSPORT側にするとスポーツモードに切り替わります。スポーツ走行に適しています。ノーマルモードより硬めに減衰力が自動的に切り替わります。

TEMS表示灯

TEMS
SPORT

エンジンスイッチがONのとき、TEMS選択スイッチを押して、スカイフックTEMSのスポーツモード(SPORT)を選択すると点灯します。

クルーズコントロール★

チェンジレバーが①のとき、アクセルペダルを踏まなくても一定の速度（約40 km/h～100km/h）で走行できます。

クルーズコントロールスイッチ



クルーズコントロール表示灯

CRUISE

クルーズコントロールをセットすると点灯します。



アドバイス

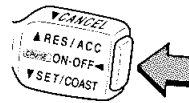
定速走行中に表示灯が点滅したときは、メインスイッチを一度OFFにしてから再度セットしてください。

以上の操作をしても、セットできないまたはセットしてもすぐ解除される場合はシステムの異常が考えられます。走行上支障はありませんがトヨタ販売店で点検を受けてください。

セットのしかた

- 1 メインスイッチを押してONにします。

クルーズコントロール表示灯が点灯します。



- 2 希望速度まで加速または減速します。

- 3 コントロールスイッチを下げ、手を離します。



以上の操作で定速走行をはじめます。

■一時的に加速、減速したいときは

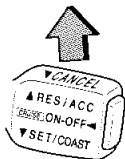
●加速したいとき

アクセルペダルを踏みます。
アクセルペダルを離せば、もとの定速走行状態にもどります。

●減速したいとき

ブレーキペダルを踏みます。
ブレーキペダルを踏むと、定速走行が解除されます。

もとの定速走行状態にもどりたいときは、コントロールスイッチを上げ、手を離します。

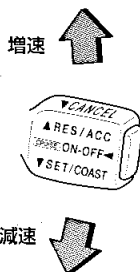


設定速度のかえ方

セットのしかたの[2]、[3]の手順でかえる方法と、次のコントロールスイッチでかえる方法があります。

[1]コントロールスイッチを操作します。

- 上げ続けると増速します。
- 下げ続けると減速します。

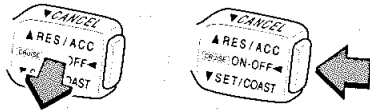


[2]希望速度になったら、手を離します。

- コントロールスイッチを上または下に軽く操作して手を離せば、設定速度の微調整（約1.5km/h）ができます。

解除のしかた

コントロールスイッチを手前に引くか、メインスイッチを押してOFFにします。



- 次の場合は、自動的に定速走行が解除されます。
 - ブレーキペダルを踏んだとき
 - セットした速度より車速が約16km/h以上低下したとき
 - 車速が約40km/h以下になったとき
 - VSCの作動によりスリップ表示灯が点滅するとともにVSC作動警告ブザーが鳴ったとき（車両が横すべりしそうになったとき）
→68ページ参照
- コントロールスイッチによる定速走行状態の解除およびブレーキペダルを踏んで解除した場合は、コントロールスイッチを上げ手を離すととの定速走行状態にもどります。ただし、車速が約40km/h以下になると解除する前の定速走行状態にはもどりません。

知識

クルーズコントロールを使用して定速走行しているときには、以下の操作をしてもクルーズコントロールが解除されないため、エンジンブレーキが効きません。

- ゲート式チェンジレバー装着車
チェンジレバーの③から④へのシフトダウン操作。
 - ストレート式チェンジレバー装着車
O/DスイッチのOFF操作。
- 減速が必要なときは、クルーズコントロールスイッチで設定速度をかえる（前ページ参照）かブレーキペダルを踏みます。

注意

- クルーズコントロールを使用しないときはメインスイッチをOFFにしてください。誤ってクルーズコントロールを作動させてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 次のような状況のときはクルーズコントロールを使用しないでください。使用すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 交通量の多い道や急カーブのある道路の状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
 - 凍結路や積雪路などのすべりやすい路面
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
 - 急な下り坂
急な下り坂ではエンジンブレーキが十分効かないため、セットした速度を越えてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フルタイム4WD★

フルタイム4WD車は、常に4つのタイヤに駆動力が伝わるため、次のような走行に効果を発揮します。

- コーナリング時の走行安定性、操縦性がより高まります。
- 雪や雨などですべりやすい路面や急坂、悪路での走行安定性、操縦性がより高まります。

フルタイム4WDといっても万能車ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転を心がけてください。

走行について

オンロード専用車です。無理な運転は禁物です。

- オフロード走行やラリー走行を目的とした車ではありません。必ず以下の点をお守りください。
 - 渡河などの水中走行はしないでください。
 - すべりやすい路面での走行は慎重に行ってください。
 - 脱輪などにより前輪が宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。

タイヤについて

フルタイム4WDは、4つのタイヤに常に駆動力がかかるため、タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤのチェックは忘れずに行ってください。

- タイヤのローテーションは5,000kmごとに行ってください。
タイヤ間での摩耗差があると車の性能が十分に発揮できません。
- 4輪とも指定サイズで、同一メーカー・同一サイズ・同一銘柄およびトレッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。
タイヤやディスクホイールを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。

- 日常点検として必ずタイヤ空気圧を点検してください。
正しい空気圧と大きく異なるときは、車の性能が十分に発揮できません。
空気圧は、運転席ドアを開けたボディ側に貼られている「タイヤ空気圧」の表または232ページのメンテナンスデータで正しい空気圧を確認のうえ、調整してください。
- タイヤチェーンは必ず後輪に取り付けてください。（207ページ参照）

スリップ表示灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
走行中にタイヤがスリップすると表示灯が点滅します。

注意

走行中に表示灯が点滅したときは、とくに慎重に運転してください。
慎重に運転しないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**アドバイス**

表示灯が次のようになったときは、システムの異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき。

4WD警告灯

4WD

エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
その後、4WDシステムに異常があると点灯します。

**アドバイス**

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき
- 走行中に点灯したとき

けん引してもらうときは

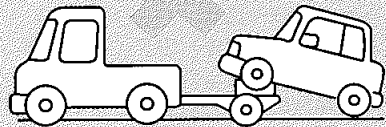
エンジンがまわっているのに車が動かなかったり、異常な音がある場合は、駆動系の故障も考えられますので、まずトヨタ販売店へご連絡してください。
けん引してもらうときは次の事項を必ず守ってください。

- 駆動系部品が故障したと思われるときは必ず4輪を持ち上げて搬送してください。

注意

4輪接地または4輪とも持ち上げた状態でけん引してください。

前輪または後輪だけを持ち上げたけん引は絶対にしないでください。駆動装置が焼きつきを起こしたり、車がトレッカー（台車）からとび出すおそれがあります。



- 251ページの「けん引について」もあわせてお読みください。

タイヤ空気圧警報システム★

VSC付き車

四輪のいずれかのタイヤが走行に支障をきたすような低い空気圧のまま走行を続けたときに、メーター内の警告灯を点灯させ、タイヤ空気圧の低下をお知らせします。

ただし、停車時などにはタイヤ空気圧の低下を検出しませんので、日常点検として必ずタイヤ空気圧を点検してください。

空気圧が不足している状態で走行すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

タイヤ空気圧の点検は法的にも義務づけられています。

タイヤ空気圧警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

走行中、タイヤ空気圧が低下すると点灯します。点灯したときは、ただちに空気圧を調整してください。

空気圧は運転席ドアを開けたボディ側に貼られている「タイヤ空気圧」の表または232ページのメンテナンスデータで正しい空気圧を確認のうえ、調整してください。

なおこの場合、正しい空気圧に調整したあと、約30km/h以上の速度でしばらく走行すると警告灯が消灯します。

⚠ 注意

4輪とも指定サイズで、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄、および同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。指定以外の物や異なったサイズ、種類の物を装着するとタイヤ空気圧警報システムが正常に作動しない場合があります。

タイヤ、ディスクホイールを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。



アドバイス

- 次のような場合はシステムが正常に作動しないため、タイヤ空気圧が低下しても警告灯が点灯しなかったり、タイヤ空気圧が正常であるのに警告灯が点灯したりすることがあります。
 - 指定サイズ以外のタイヤを使用したり、異なるサイズ、異なる種類のタイヤを混ぜて使用しているとき、または、四輪の中に著しく摩耗程度の異なるタイヤがあるとき。
 - 応急用タイヤ、スタッドレスタイヤ、スノータイヤを使用しているときやタイヤチェーンを装着しているとき。
 - 正しい空気圧より極端に高い空気圧のタイヤを使用しているときや走行中のバースト（破裂）などにより急激にタイヤ空気圧が低下したとき。
 - 極端に荒れた路面や凍結路などのすべりやすい路面を走行しているとき、また約30km/h未満の速度で走行しているとき、および約5分未満の短時間の走行。
- タイヤ、ホイールの交換を行ったときはシステムの初期調整操作が必要です。初期調整を行わないとシステムが正常に作動しなくなることがあります。操作方法は次ページの「**タイヤ、ホイールを交換したときは**」をご覧ください。
- これらの場合以外で、正しい空気圧に調整したにもかかわらず、走行中に警告灯が点灯するときはシステムの異常が考えられます。トヨタ販売店で点検を受けてください。

タイヤ、ホイールを交換したときは

システムの初期調整が必要です。次の手順にしたがって操作してください。

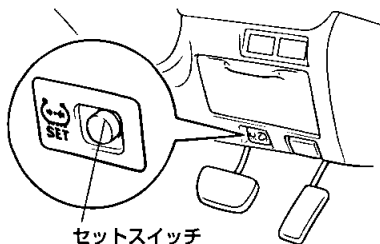
- 1 車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて、エンジンスイッチをOFFにします。
- 2 タイヤ空気圧を四輪とも調整します。空気圧は運転席ドアを開けたボディ側に貼られている「タイヤ空気圧」の表または232ページのメンテナンスデータで正しい空気圧を確認のうえ、調整してください。



アドバイス

正しい空気圧に調整せずにセットスイッチによる初期調整を行うと、正常状態のタイヤ空気圧を検知できないため、タイヤ空気圧が低下してもタイヤ空気圧警告灯が点灯しなかったり、タイヤ空気圧が正常であるのに警告灯が点灯することがあります。

- 3 エンジンスイッチをONにします。
- 4 車を停車したままで、メーター内のタイヤ空気圧警告灯が3回点滅するまでセットスイッチを押し続けてください。
 - セットスイッチは運転席インストルメントパネル右下にあります。



アドバイス

セットスイッチを押し続けてもタイヤ空気圧警告灯が点滅しないときは、システムの異常が考えられます。トヨタ販売店で点検を受けてください。

- 5 しばらく走行するとシステムがタイヤ空気圧の正常状態を検知し、初期調整が完了して作動可能となります。



アドバイス

走行中にセットスイッチを押しても初期調整は行われません。